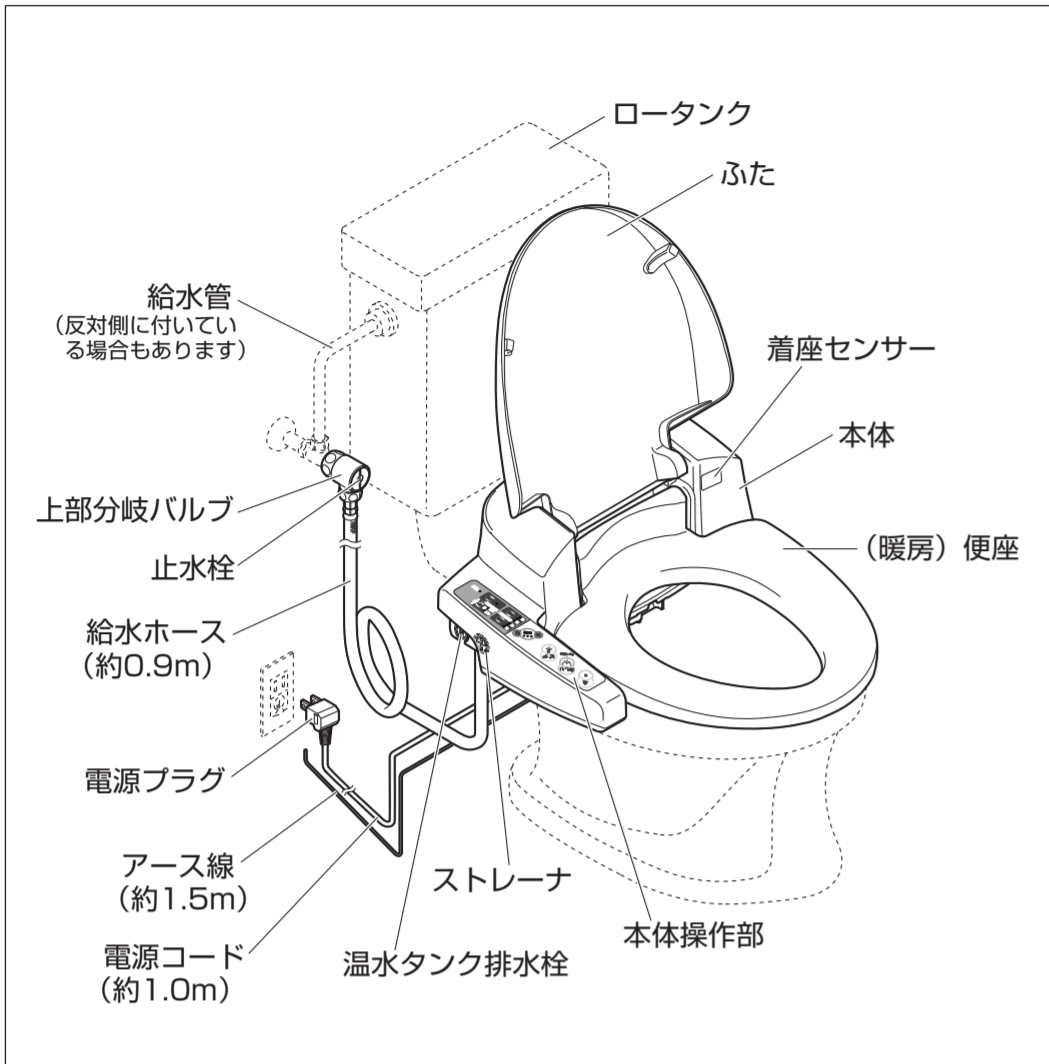


温水洗浄便座 EW9001 (脱臭機能付) EW9011 (脱臭機能なし)

施工説明書 施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
●施工後、工事店様は本書をお客様へお渡しください。
(株)三栄水栓製作所 本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問合せ先 ☎大阪 (06) 6976-8661 ☎東京 (03) 3683-7496

本製品について 各部の名称



施工について 施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いすれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

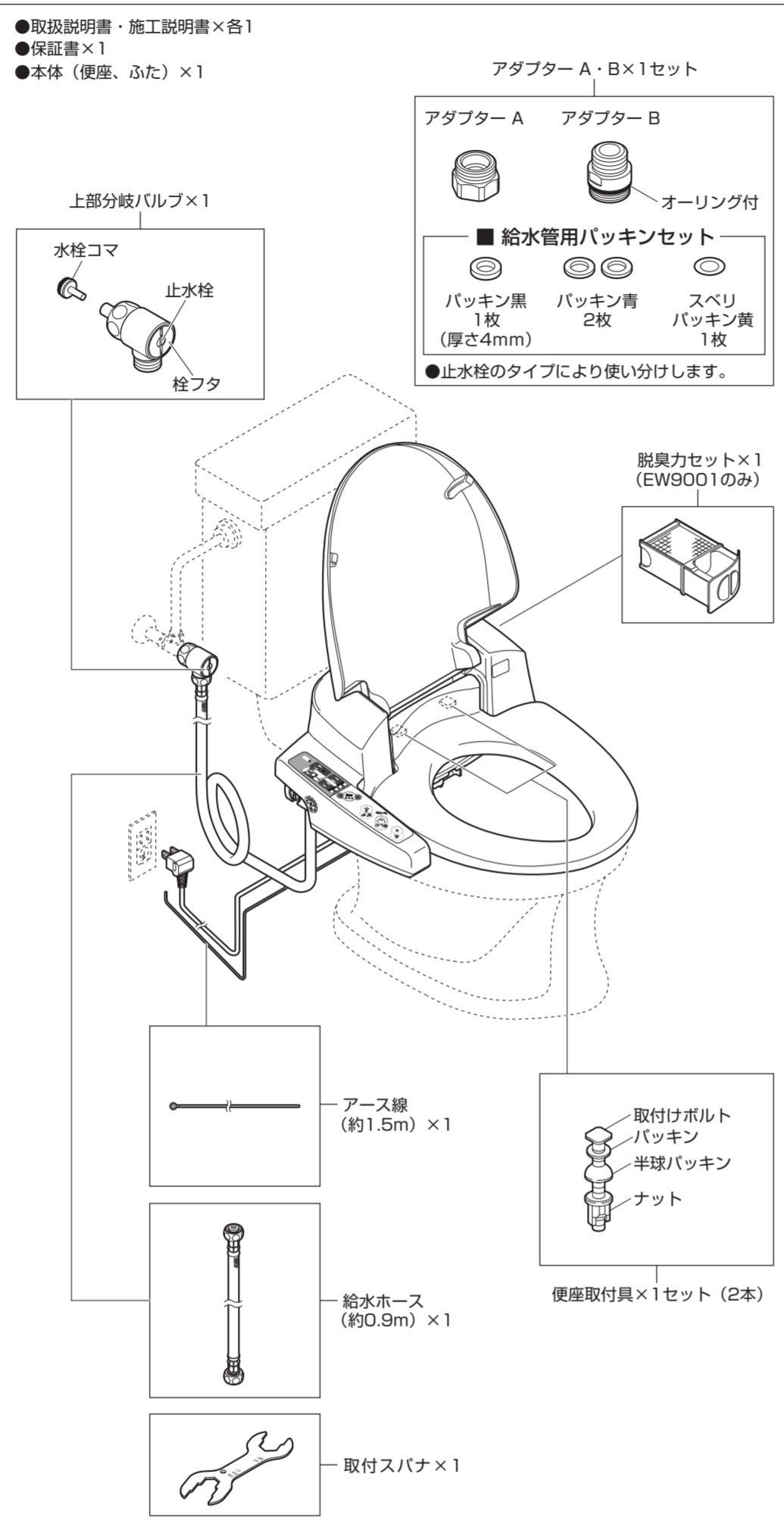
用語および記号の説明

- 警告 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
注意 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
「注意しなさい!」 (上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
「してはけません!」 (一般的な禁止記号です。)
「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはけません!」
「指示通りにしなさい!」 (一般的な行動指示記号です。)
「アース線を接続しなさい!」

警告

- 上水道以外の水道に接続しないでください。
●傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
●電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
アースは、D種(第3種)接地工事を確認してください。
浴室内など湿気が多い場所に設置しないでください。
必ず交流100Vで使用してください。
定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。
寒冷時の取付けは暖房の効いた部屋で本体をあたためてからおこなってください。

施工について 梱包明細



施工について 便器の確認

Table listing compatible toilet models from TOTO, INAX, and Matsuda Electric, including model numbers and names.

施工について 施工手順

Main tools list including washbasin, minus driver, plastic driver, pipe cutter, and water stop key, with corresponding images and part numbers.

1 施工前の注意事項

- (1) 施工にはトイレ内にコンセント及びアースが必要です。
(2) トイレ内の止水栓がフラッシュバルブ(参照: 5 上部分岐バルブの取付け)
(3) 使用可能水圧は0.07MPa~0.75MPaです。
(4) 寒冷時に取付ける場合、本体検査時の残水が輸送・保管中に凍結することがあります。

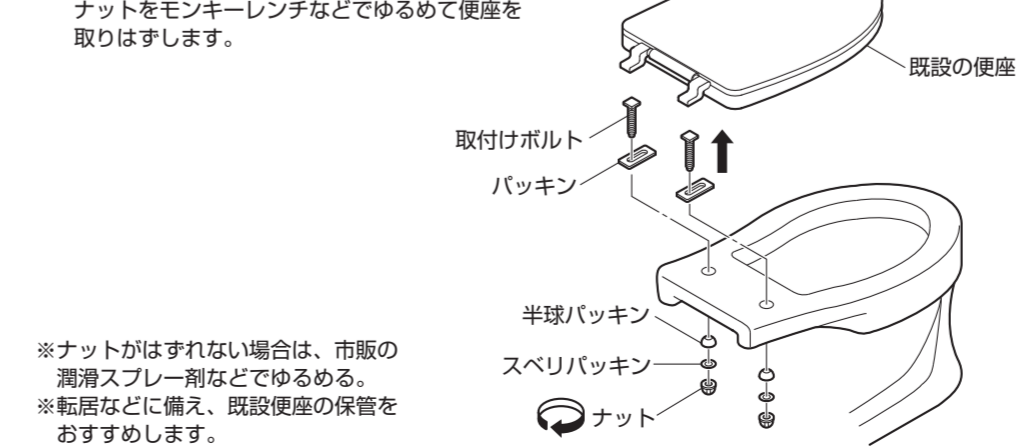
注意 施工完了まで、電源プラグをコンセントに絶対に差し込まないでください。水が入っていないので、故障の原因になります。

2 元栓を開けて、水を止める

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

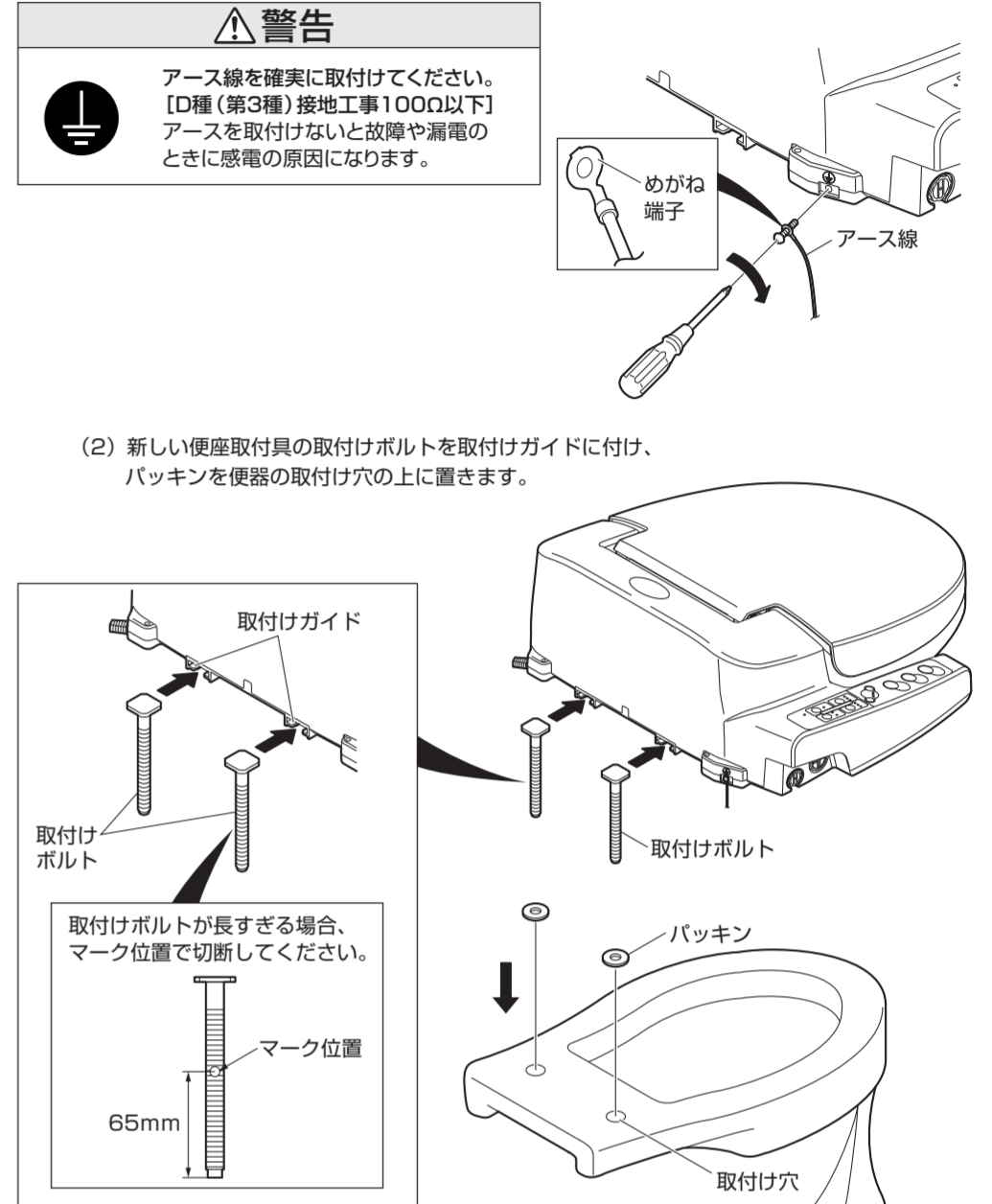
Diagrams and instructions for opening the main water stop valve in different types of buildings: key-type and handle-type.

3 既設の便座を取りはずす

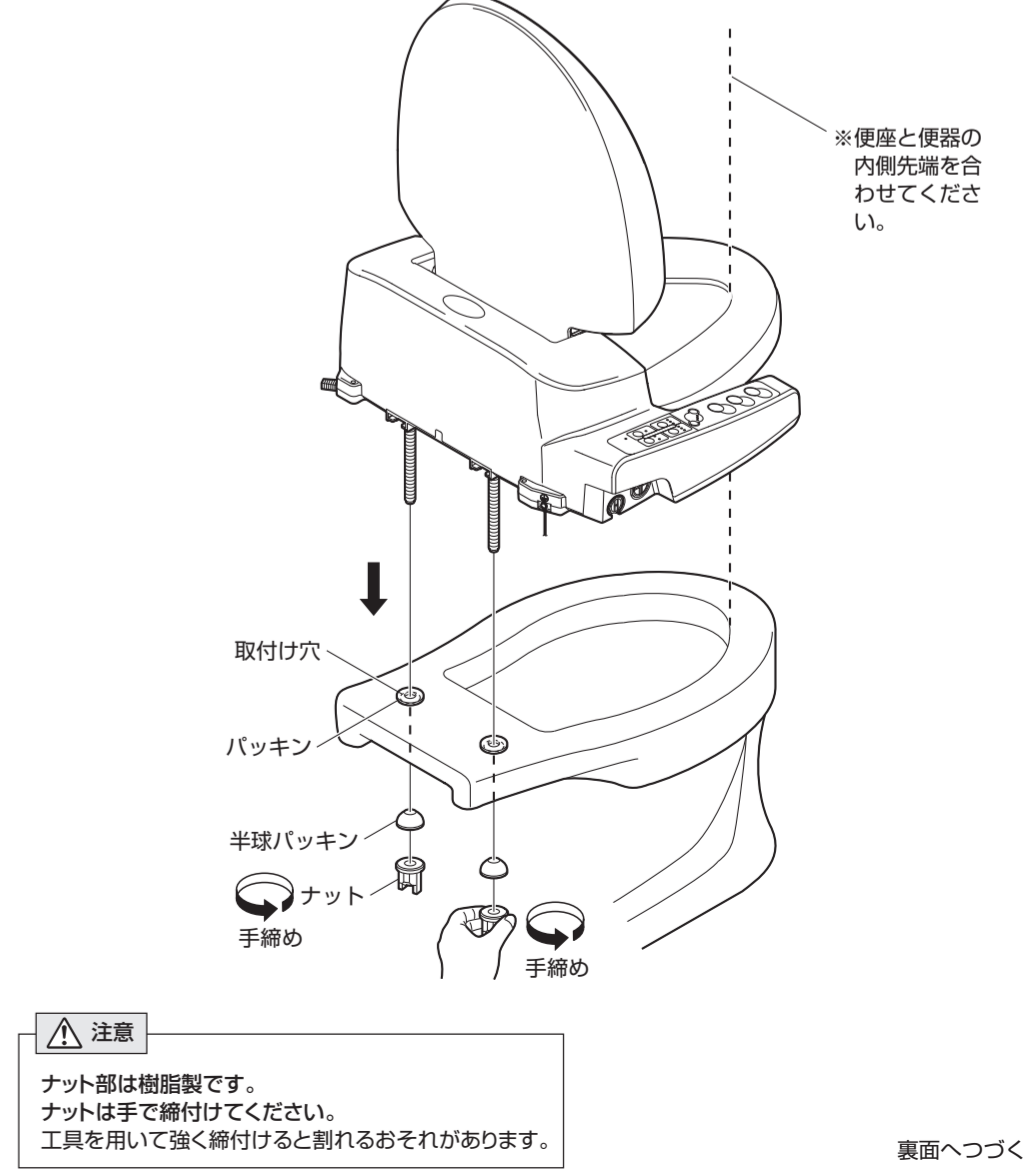


4 本体の取付け

- (1) アース線を取付けます。
(2) 新しい便座取付け具の取付けボルトを取付けガイドに付け、パッキンを便器の取付け穴の上に置きます。

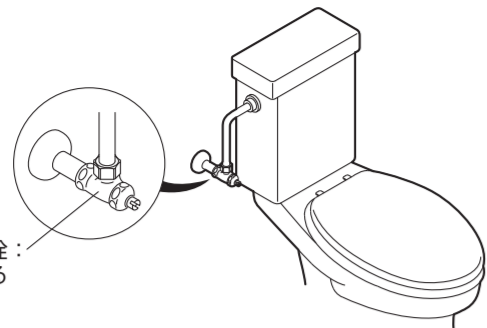


- (3) 取付け穴に取付けボルトを通し、本体位置を調整し、半球パッキン、ナットを後方下部から手で締付けます。



5 上部分岐バルブの取付け

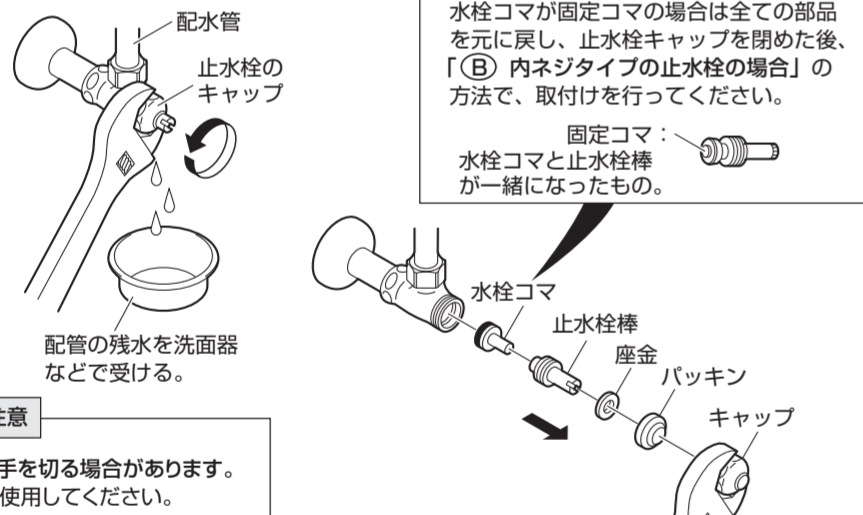
止水栓のタイプを確認します。



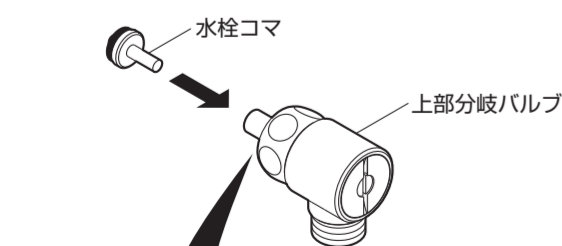
<p>●一般的な止水栓</p> <p>マイナス溝 ハンドル</p>	<p>「A 一般的な止水栓の場合」で施工してください。</p> <p>※一般的な止水栓でも固定コマの場合は、「B 内ネジタイプの止水栓の場合」で施工してください。</p>
<p>●内ネジタイプの止水栓</p> <p>内ネジ</p>	<p>「B 内ネジタイプの止水栓の場合」で施工してください。</p>
<p>●寒冷地用給水管(止水栓なし)</p>	<p>「C 寒冷地用給水管(止水栓なし)の場合」で施工してください。</p>
<p>●フラッシュバルブのとき</p> <p>別売の洗浄便座取付アダプター</p>	<p>「D フラッシュバルブの場合」で施工してください。</p>

A 一般的な止水栓の場合

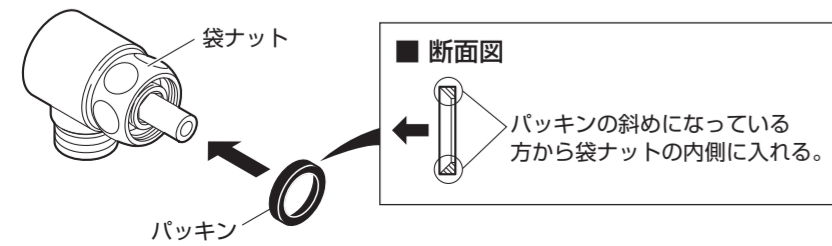
(1) 配管の止水栓部品をモンキーレンチなどで取りはずします。



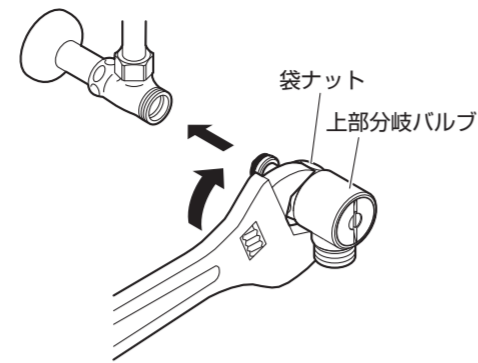
(2) 上部分岐バルブに同梱の水栓コマを差し込みます。



■バックシンが入っていることを確認してください。バックシンが取れた場合、斜めになっている方から内側にはめてください。



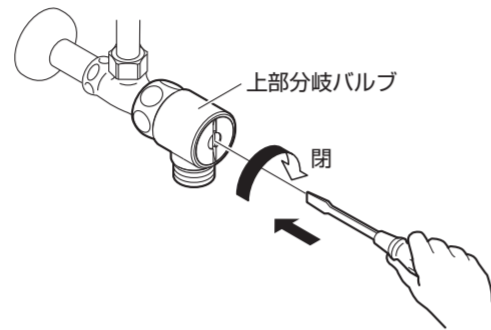
(3) 止水栓に上部分岐バルブの袋ナットを手で強くねじ込んだ後、さらに約1~1.5回転モンキーレンチなどで締付けます。



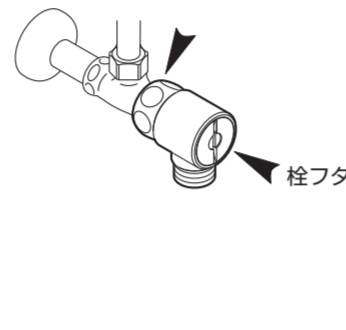
仕上がり位置より少し手前の位置で上部分岐バルブを仮固定して、締付けの際に仕上がり位置にあわせると、うまく取付けられます。

注意：上部分岐バルブ固定後に位置あわせしないでください。袋ナットがゆるむおそれがあります。

(4) 止水栓を押し込みながら確実に開めます。



(5) 確実に固定しているか各部を確認してください。

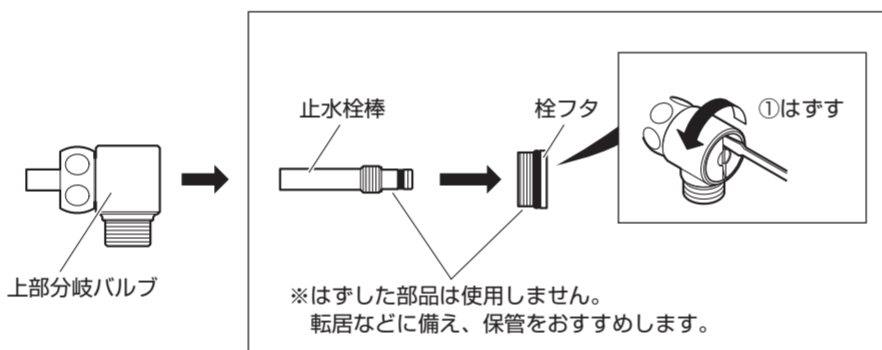


以上の手順で取付けは完了です。「**6** 給水ホースの取付け」にすすんでください。

- B 内ネジタイプの止水栓の場合
- C 寒冷地用給水管(止水栓なし)の場合

施工前に上部分岐バルブの組み替えを行ってください。

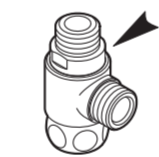
- ① マイナスドライバーなどを差し込んで栓フタをはずします。
- ② 止水栓棒をはずします。



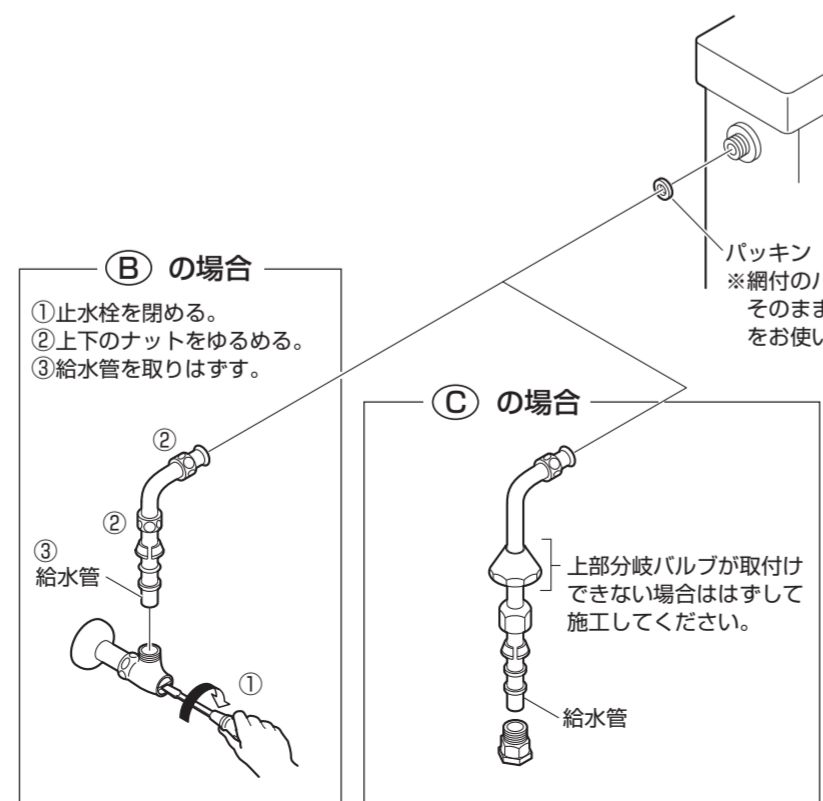
(3) アダプターBをモンキーレンチなどで締付けます。



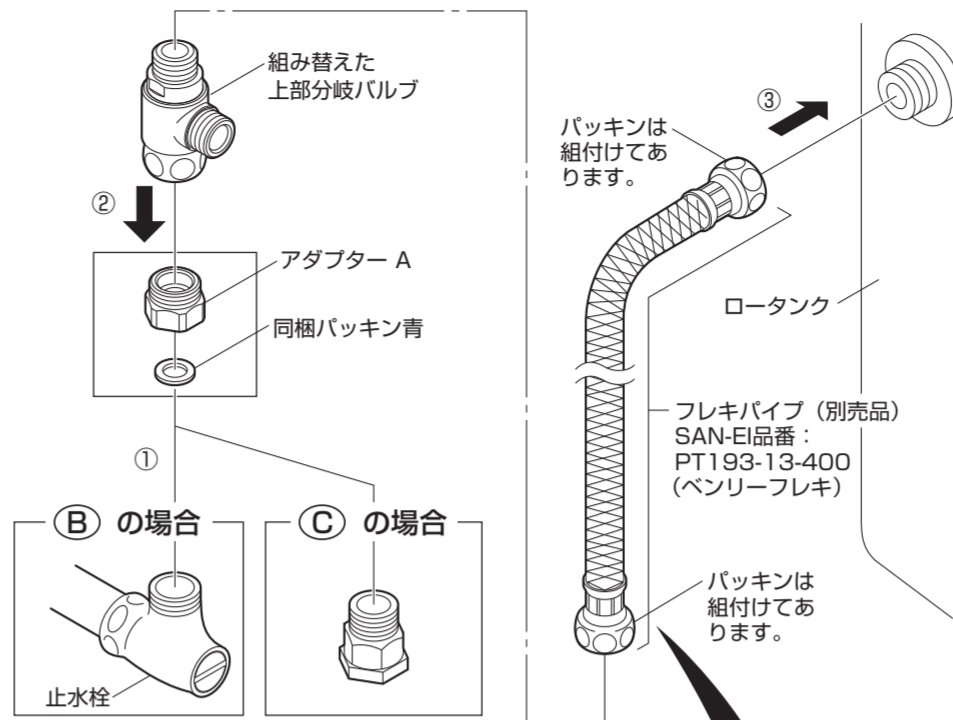
(4) 確実に固定しているか各部を確認してください。



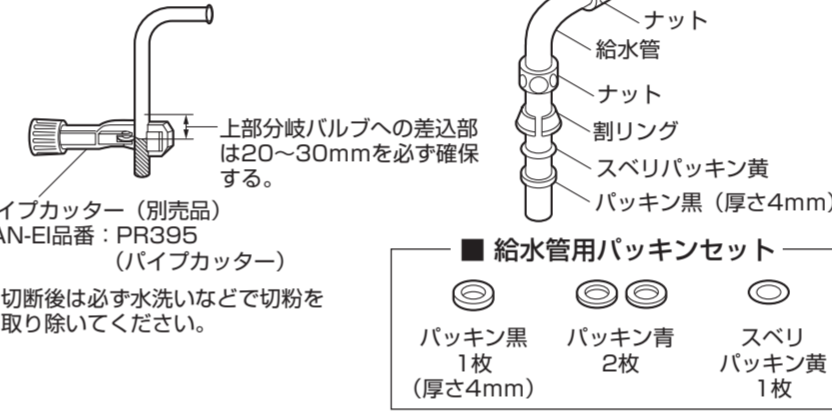
(1) 給水管をはずします。



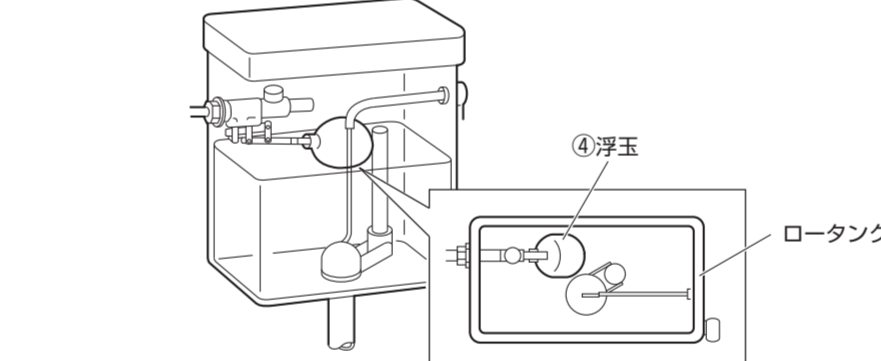
- (2) 上部分岐バルブを取付けます。① アダプターAを止水栓に取付けます。② 組み替えた上部分岐バルブを手で強くねじ込んだ後、さらに約1~1.5回転モンキーレンチなどで締付けます。③ 別売のフレキパイプを取付けます。



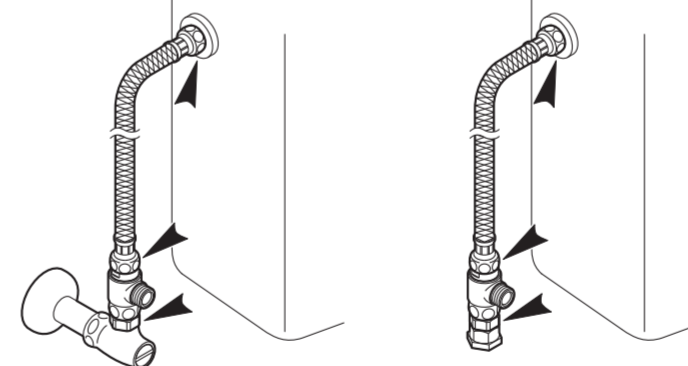
フレキパイプが入りできない場合は、別売のパイプカッターで給水管を切断してください。



(4) フレキパイプの固定によって浮玉がロータンクなどに当たっていないか確認してください。



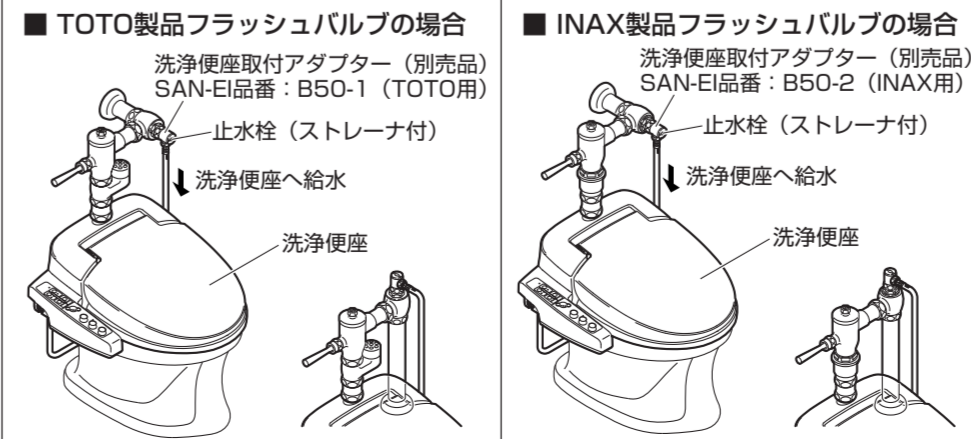
(5) 確実に固定しているか各部を確認してください。



以上の手順で取付けは完了です。「**6** 給水ホースの取付け」にすすんでください。

D フラッシュバルブの場合

別途、別売の部品が必要です。専門的な工事になりますので、水道分岐工事は専門業者にご依頼ください。

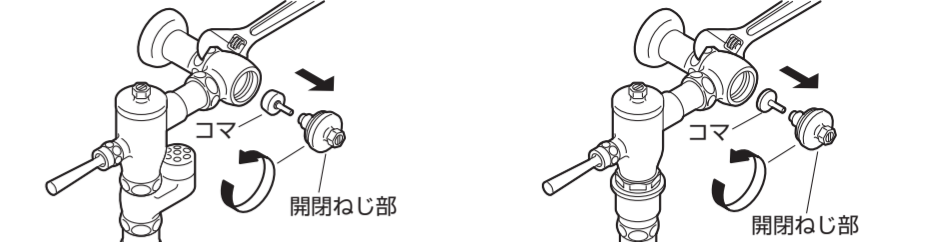


〔洗浄便座取付アダプターの施工例〕

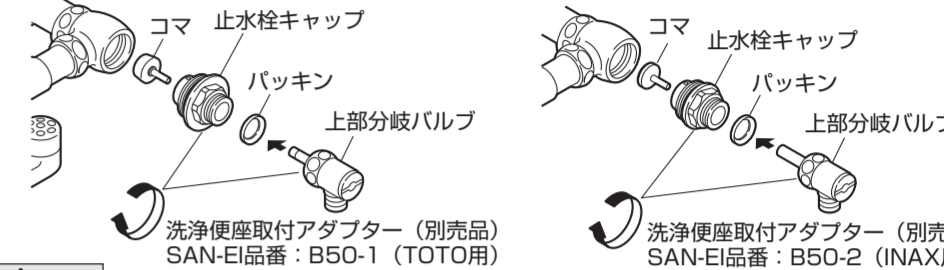
(1) 器具への給水を止め、既設のフラッシュバルブの開閉ネジ部をはずします。

注意：●根本が緩まないよう、スパナなどで固定しながら開閉ネジ部をはずしてください。●コマは洗浄便座取付アダプターを取付ける際に必要なので、紛失しないようにしてください。

■TOTO製品フラッシュバルブの場合 ■INAX製品フラッシュバルブの場合



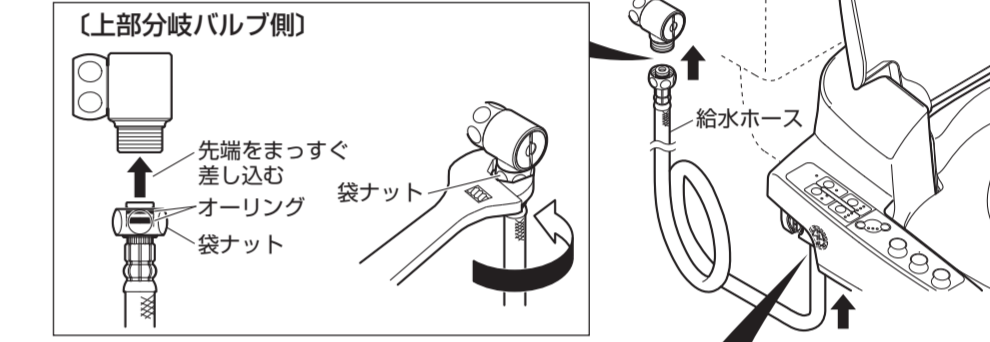
(2) 洗浄便座取付アダプターを既設のフラッシュバルブに取付けます。



注意：バックシンは確実にに入れてください。

6 給水ホースの取付け

(1) 上部分岐バルブと便座を給水ホースでつなぎます。

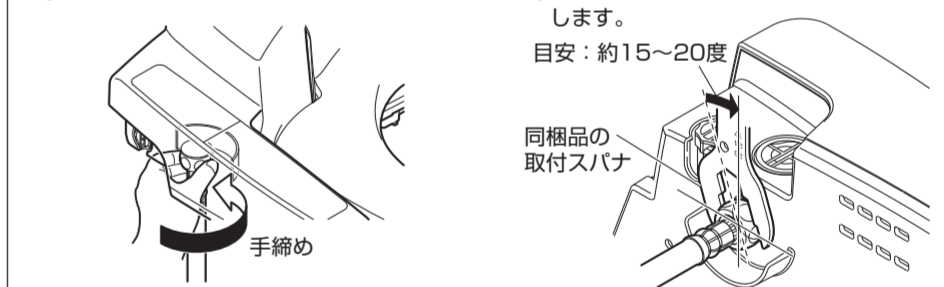


〔洗浄便座側〕

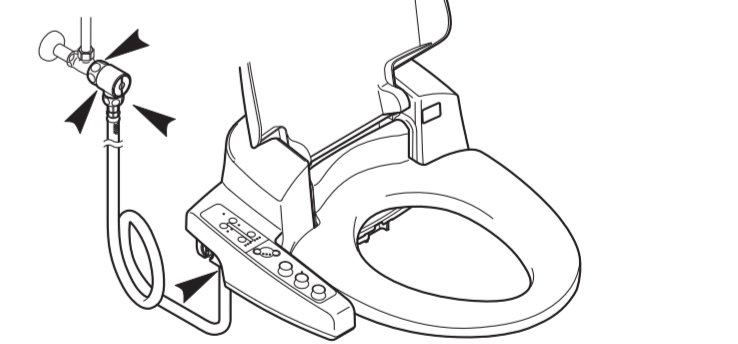
注意：先端をまっすぐ差し込む

注意：洗浄便座側の取付ねじは樹脂製です。ナットを手で締付けた後、同梱品の取付スパナでかたく増締めしてください。強く締付けると割れるおそれがあります。

① 給水ホースの袋ナットを手で締付けます。



(2) 確実に固定しているか各部を確認してください。



7 アース線の接続

- (1) アース線のビニール被覆をニッパでむき、銅線を出して、コンセントのアース専用端子に差し込みます。(アース線の長さは設置場所により調節してください。)
- (2) 本体側のアース線が確実に取付けられているか確認してください。



8 水道の元栓を開ける

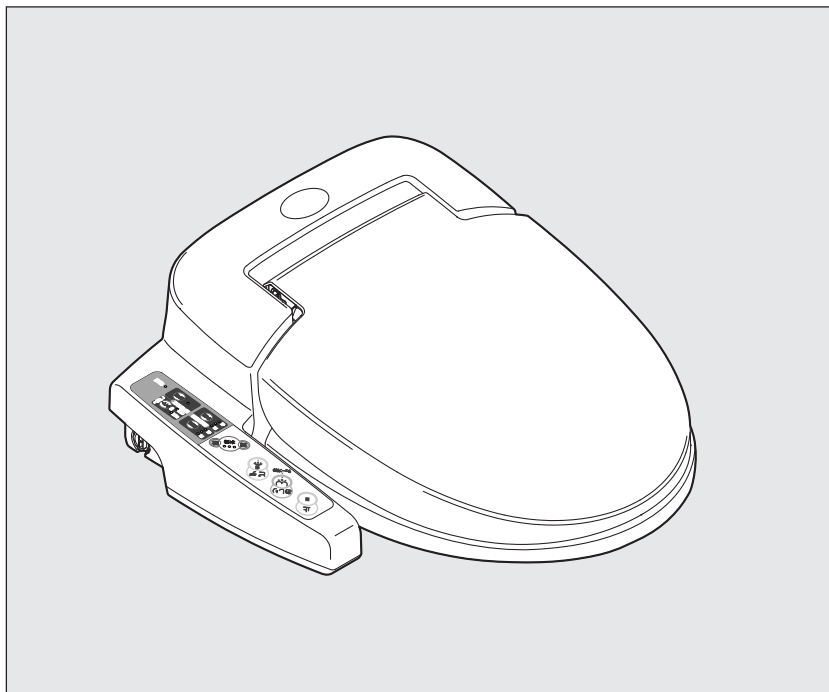
これで本製品の施工は完了です。引き続き、取扱説明書の「ご使用に関する安全上のご注意」をよくお読みのうえ、「準備・確認」にすすんでください。

温水洗浄便座

..... EW9001 (脱臭機能付)
EW9011 (脱臭機能なし)

取扱説明書

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称.....1~3

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意.....4~6

準備・確認.....7~9

着座センサーについて.....10

おしり、ビデ洗浄.....11~12

温度調節・設定(節電).....13~14

ご使用上の注意.....15

凍結予防.....16

長期間使用しないとき.....17

日頃のお手入れ.....18~23

こんなときは

故障? その前に.....24

破損、水もれするとき.....25

オプション品について.....26

仕様

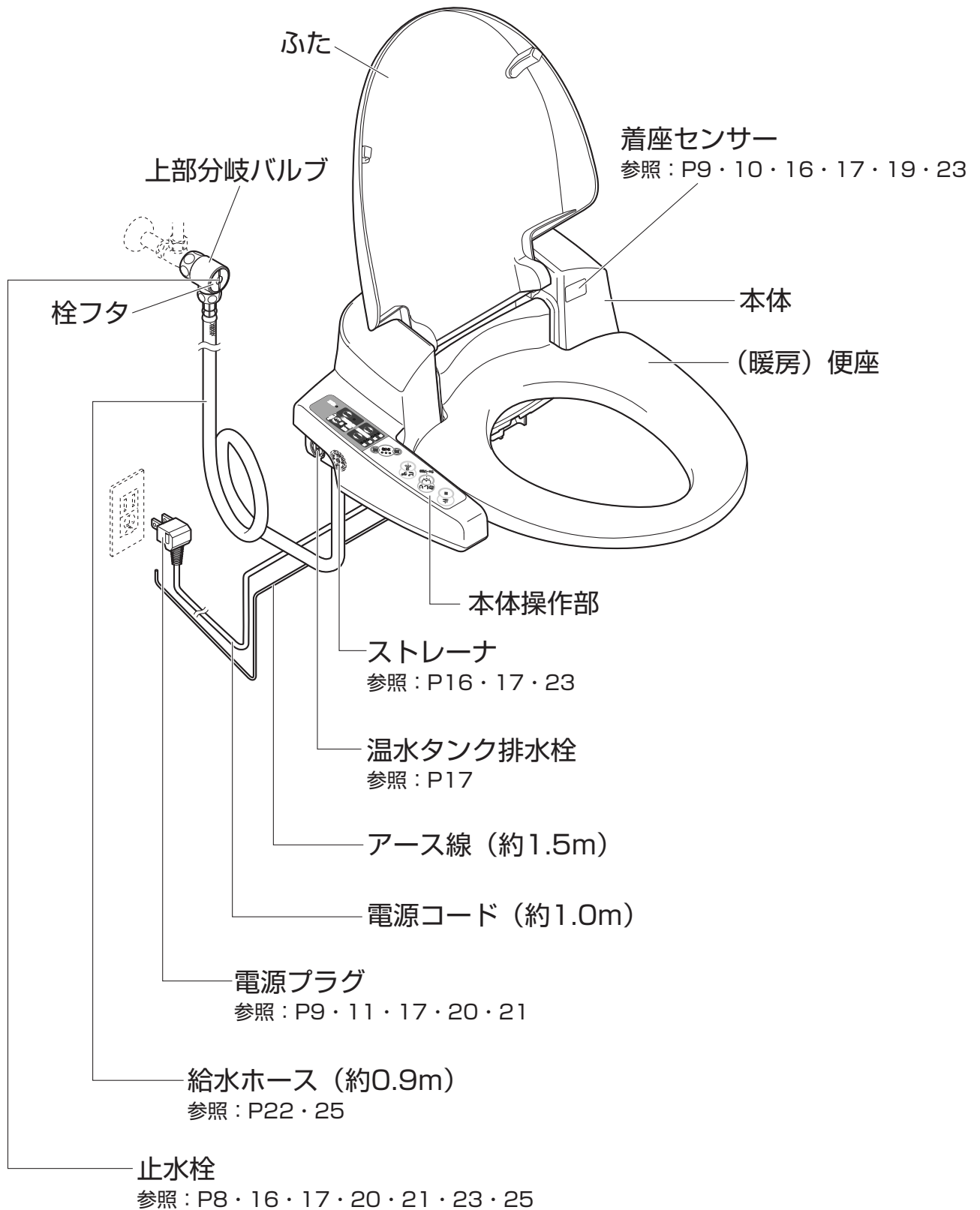
仕様.....26

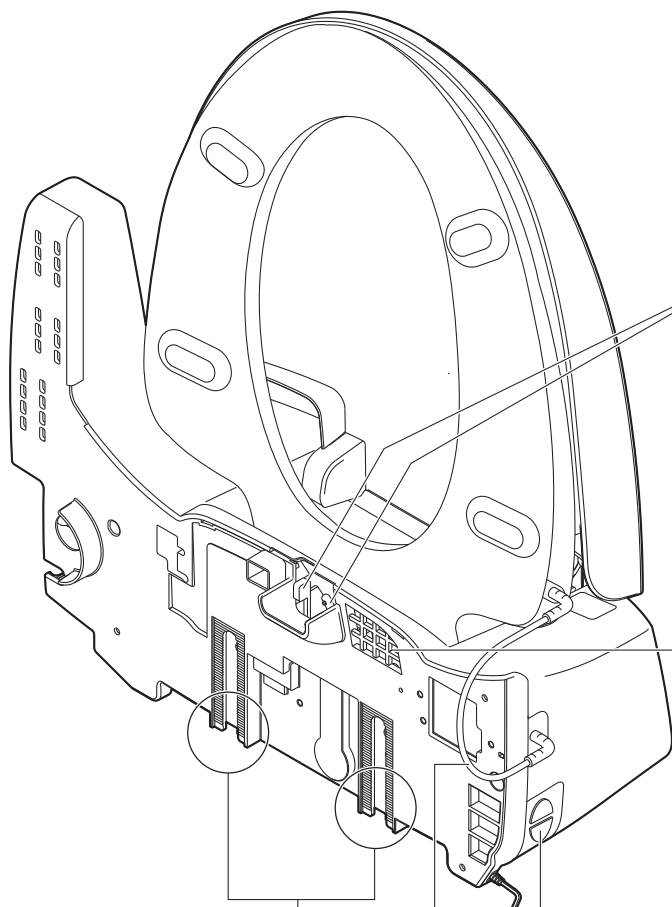
保証とアフターサービス

保証とアフターサービス.....裏面

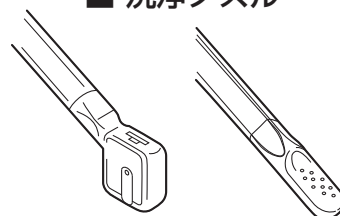
本製品について 各部の名称

本体部





■ 洗浄ノズル



おしりノズル

ビデノズル

脱臭吸込口 (EW9001のみ)

参照：P22

※EW9011にも吸込口が付いていますが、脱臭機能は働きません。

脱臭カセット (EW9001のみ)

参照：P7・10・22・26

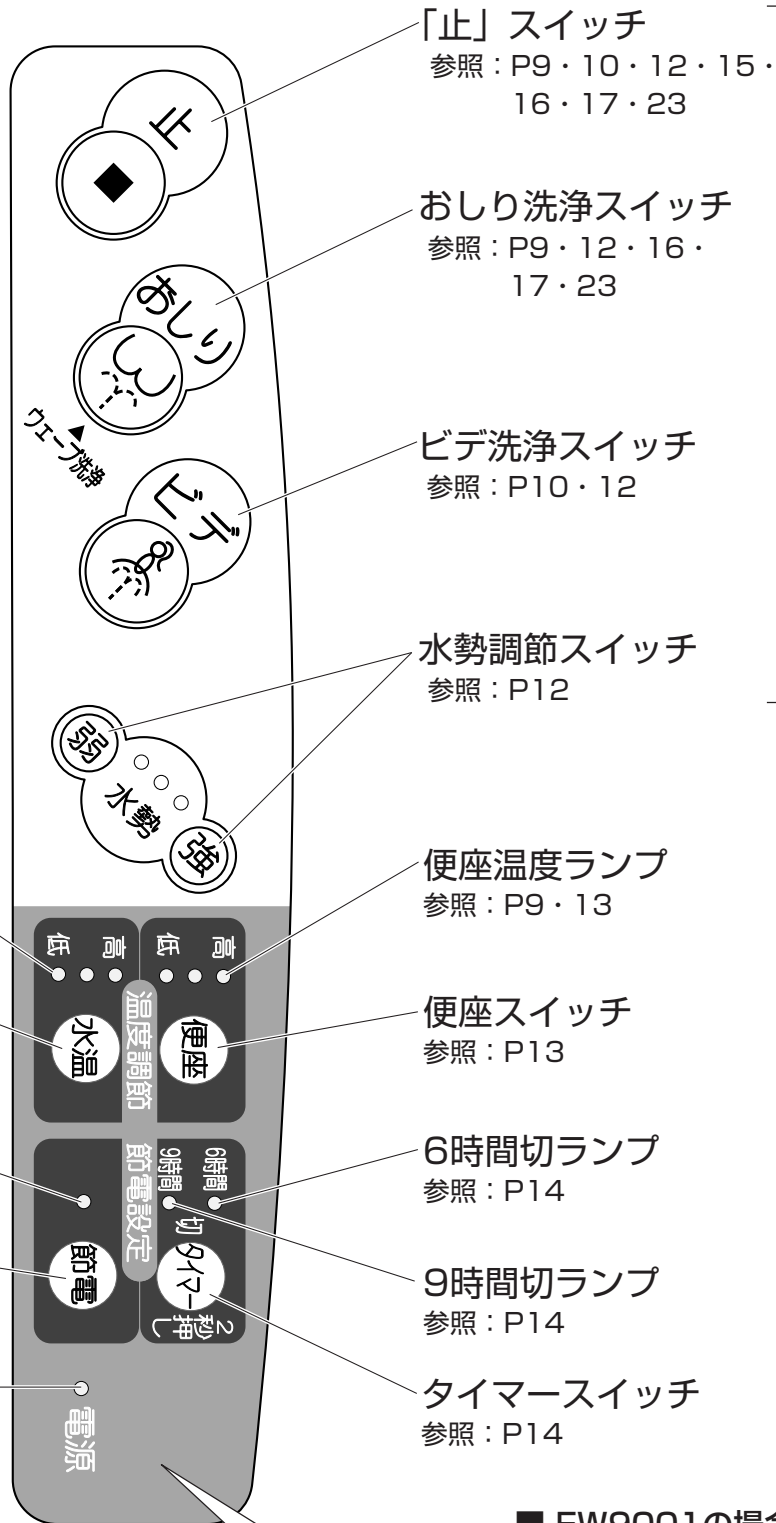
便座コード

参照：P18・19

取付けガイド

参照：P21

本体操作部



目の不自由な方
のために点字を
設けています。









■ EW9001の場合



「自動脱臭」の
表示があります。

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」
-  …………… 「濡れた手で触れてはいけません！」
-  …………… 「水や液体をかけたり、漬けてはいけません！」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
-  …………… 「アース線を接続しなさい！」

警告



絶対に分解したり、修理、改造はしないでください。
感電、火災、けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



浴室など、湿気の多い場所には設置しないでください。
感電や火災の原因になります。



製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
感電や火災の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜いたり接続をしないでください。
感電の原因になります。



上水道以外の水道に接続しないでください。
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

警告



- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
感電や火災の原因になります。



乗ったり、強い衝撃を加えないでください。
転倒したり、割れてけがをするおそれがあります。



便座コードに足をかけたり、乗ったりしないでください。
守らないと転倒したり、コードが切れてけがをしたり、感電、火災、故障するおそれがあります。



低温やけどに注意してください。
便座などに長時間皮膚の同じ場所が触れていると、低温やけどのおそれがあります。
長時間便座に座るときには暖房便座スイッチを「低め」にしてください。
※次のような方はご注意を！
お子様、お年寄り、ご病人、自分で温度調節できない方、皮膚感覚の弱い方、
眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方、深酒、疲労の激しい方。



必ず交流100Vで使用してください。
守らないと感電や火災の原因になります。



定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



寒冷時の取付けは暖房の効いた部屋で本体をあたたためてからおこなってください。
(約2時間)
本体検査時の残水が輸送や保管中に凍結し、本体への給水がおこなわれない場合があり、故障や火災の原因になります。



電源プラグにほこりが付着したら必ず取りのぞいてください。
ほこりが付着したまま使用すると、火災の原因になります。
定期的に点検してください。



電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。



本体を着脱する前に、必ず電源プラグを抜いてください。
抜かないと、感電するおそれがあります。



アースは、D種（第3種）接地工事されていることを確認してください。
アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アース工事はお買い上げの販売店などにご依頼ください。

⚠ 注意



ふたや操作部に寄りかからないでください。
ふたや操作部が割れて転倒したり、けがをするおそれがあります。



給水ホースに力を加えたり、折り曲げたり、とがったもので傷をつけないでください。
水もれの原因になります。



分岐水栓に力を加えたり、分岐水栓本体を回転させないでください。
水もれの原因になります。



開口部などから物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。



中性洗剤以外の洗剤・ベンジン・シンナー及びクレンザー・ナイロンたわしなどはプラスチックを傷めるおそれがあるため、使用しないでください。
割れてけがをするおそれがあります。



給水ホースやナットに中性洗剤以外の洗剤、薬品、芳香剤などをかけないでください。
劣化による水もれの原因になります。



お手入れのあと、ホース取付け部がゆるんでいないか確認してください。
ゆるんだまま使用すると水もれの原因になります。



動作不具合発生時には一度、電源プラグを抜き、再度差し込んでください。
リセット機能が働きます。



凍結予防してください。
凍結すると配管、本体内部が破損して水もれの原因になります。
参照：P16



長期間使用しないときは本体の水を抜き、電源プラグを抜いてください。
そのまま放置すると水の腐敗による皮膚の炎症の原因になります。
参照：P17



持ち運ぶときや、本体着脱時は、必ず本体を持って行ってください。
ふた・便座を持つと本体からはずれ、けがをするおそれがあります。



ふた・便座開閉時、指などははさまないようにしてください。
守らないとけがをするおそれがあります。

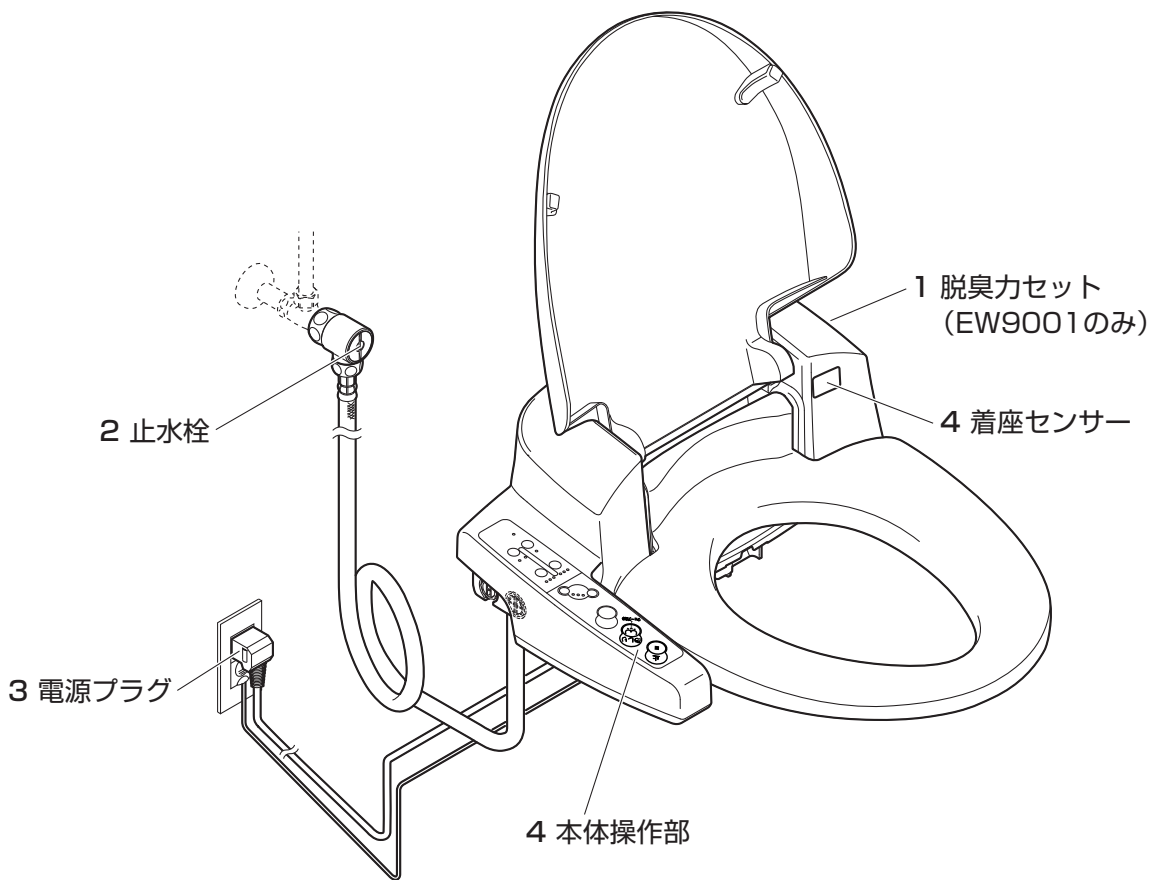


本体着脱時は、無理に力をかけないでください。
けがをしたり、配水管の水もれの原因になります。
※本体着脱がかたい場合は、無理に取りはずさず、便器裏側の本体固定部ナットをはずしてください。

ご使用について〔ご使用前に〕

準備・確認

施工完了後や本製品の取りはずしなどで再使用する前は次の処置を行ってください。

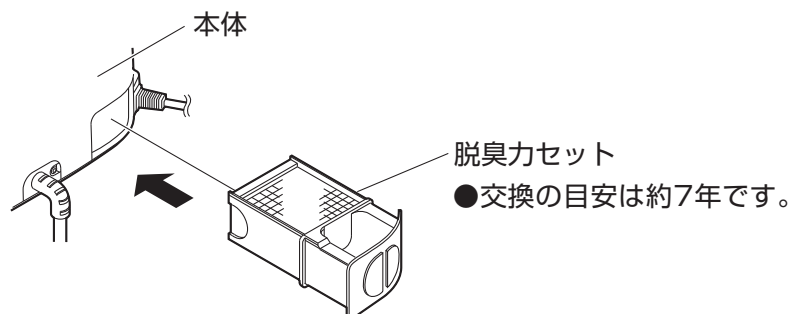


1 脱臭カセットを本体に差し込みます。
(EW9001のみ)



注意

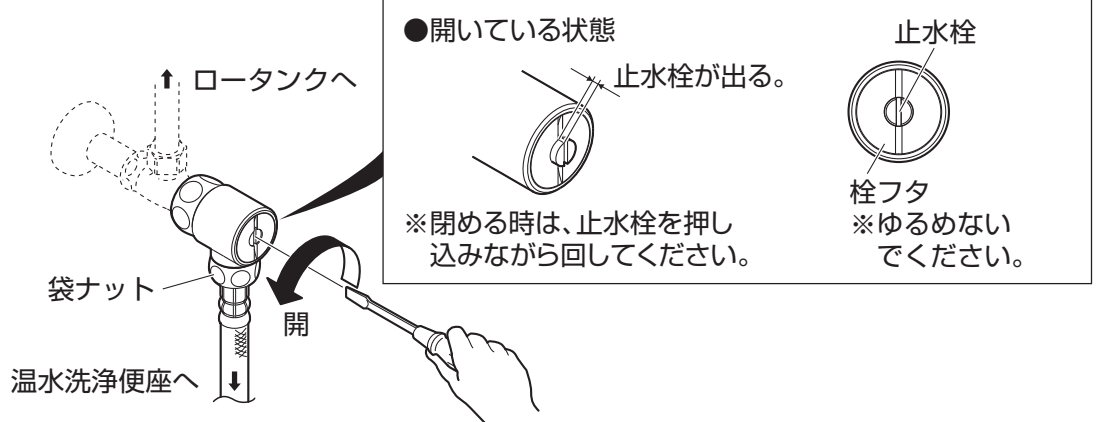
脱臭カセット交換目安シールは、
本体に貼ってください。



2 止水栓を開きます。

⚠ 注意

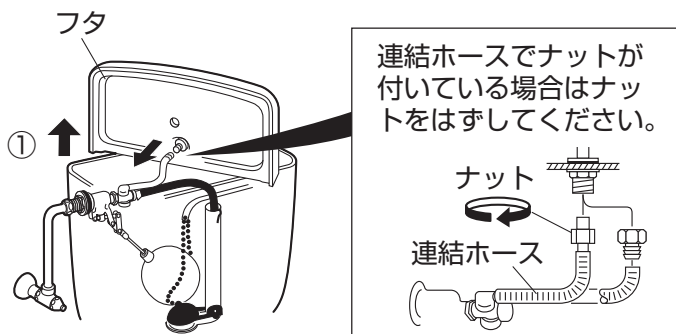
電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ず止水栓を開けてください。
止水栓を開けずに電源プラグをコンセントに差し込むと、温水タンク内の安全装置がはたらいて、お湯があたたまりません。先に電源プラグを入れた場合は、いったん電源プラグを抜き、止水栓を開いてから再度電源プラグを入れ直してください。



止水栓の調節

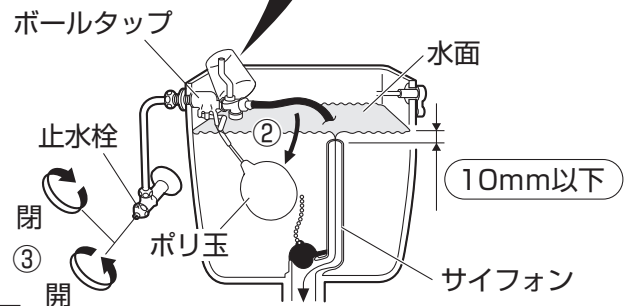
※止水栓の調節は必ず行ってください。
ボールタップの故障により、水がタンク外へあふれるのを防ぎます。

- ①ロータンクのフタを開けます。
- ②ポリ玉が浮き上がらないよう静かに押し下げます。
- ③一度止水栓を閉め、その後徐々に開き、タンク内の水面がサイフォンより10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調節します。



⚠ 注意

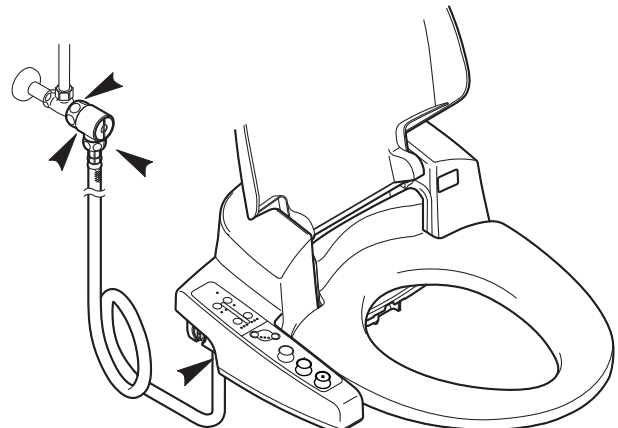
連結ホースが付いている場合は水が出ますのでコップなどでおおってください。



⚠ 注意

フタは重いので落下などに注意して作業を行ってください。

- 確実に固定しているか各部を確認してください。
水もれがある場合は水もれ部を固定してください。
参照：別紙「施工説明書」

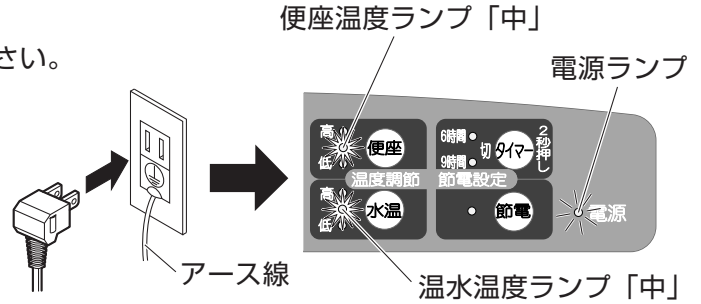


3 電源プラグをコンセントに差し込みます。(AC100V)


- 電源ランプの点滅は、約10秒後に点灯に変わります。
- 温水温度ランプ「中」、便座温度ランプ「中」が点灯します。
- アース線が接続されていることを確認してください。
参照：別紙「施工説明書」

アドバイス

動作不具合発生時には一度、電源プラグを抜き、再度差し込んでください。
リセット機能が働きます。




4 温水タンクへ給水します。 (給水の時、給水音が発生しますが異常ではありません。)

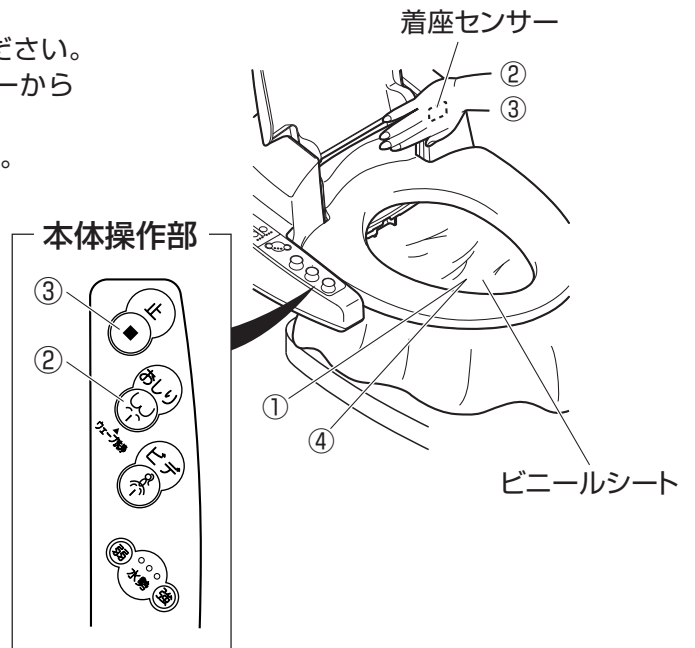
- ① 便座と便器の間に本体が梱包されていたビニールシートをはさみます。(ノズルより水が出るため。)
- ② 着座センサーを手で確実ににおおいます。
 - 本体操作部の  を押し、本体へ給水します。

※約2分で給水完了しますのでこの間は着座センサーを手でおおったままにしてください。

(途中で手を離すと給水が止まります。)

- 約2分後ノズルから水が出ることを確認してください。



- ③ 本体操作部の  を押し、水を止め、着座センサーから手を離します。
※お湯が設定温度に上がるまで5～10分かかります。
- ④ ビニールシートを取りはずします。

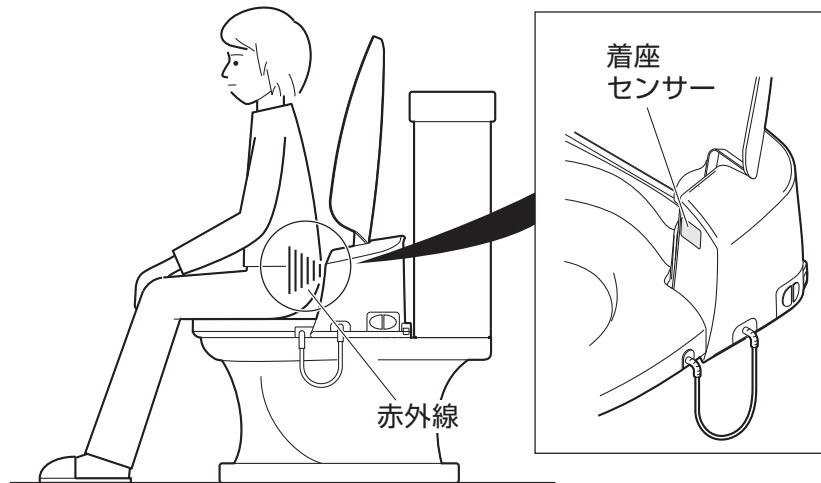


ご使用について 着座センサーについて

- 着座を検知すると洗浄、脱臭（EW9001のみ）が使えるようになります。
- 着座センサーからは赤外線が出ています。
この赤外線の位置に着座することで人体を検知します。

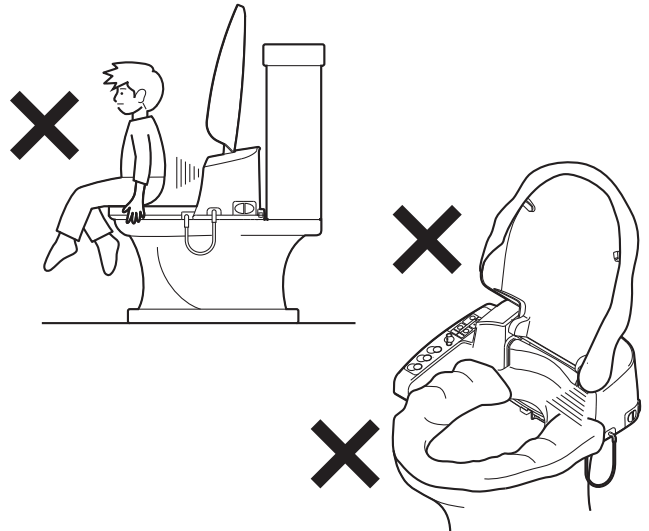
■ 脱臭について（EW9001のみ）

- 座ると同時に脱臭がはたらきます。（自動脱臭）
 - 便座から離れると、約1分後に脱臭が止まります。
- ※脱臭がはたらかないように設定するには、本体操作部の  と  を同時に3秒間押します。
（ピーという音がします。）
（ただし、設定した後に電源プラグを抜くと、初期状態に戻り、着座時に脱臭がはたらくようになります。）



⚠ 注意

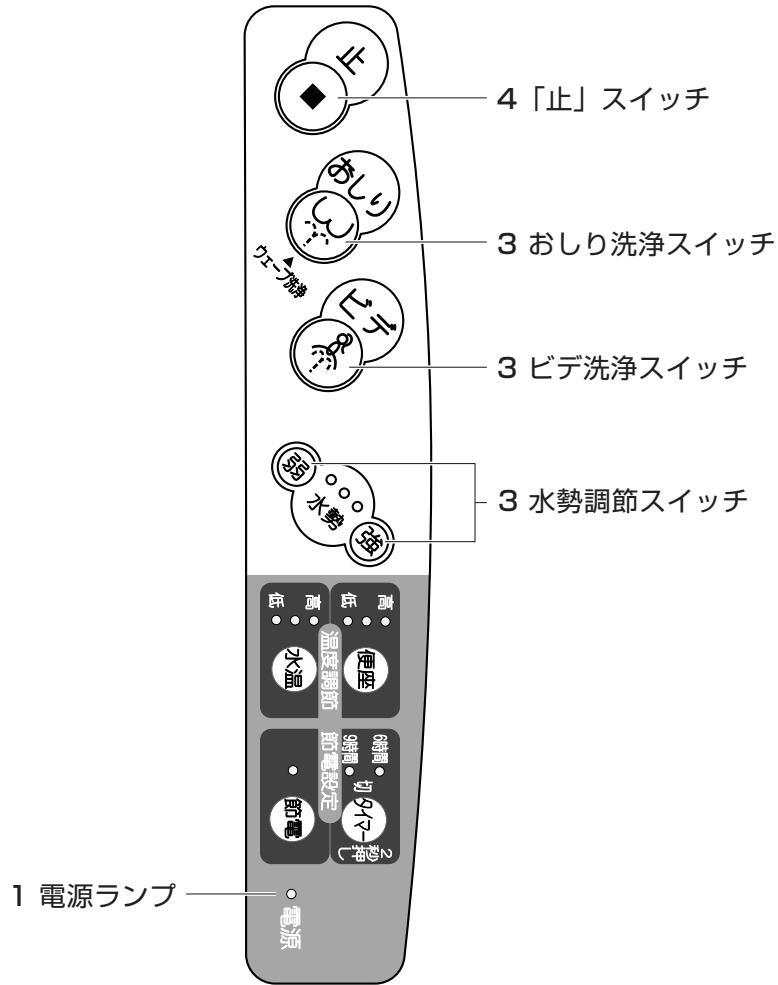
- 便座の開閉動作を行うと、便座が着座センサーの検知エリアを横切り、脱臭がはたらくことがあります。（EW9001のみ）
- お子様などが便座の前寄りに座っているときは、人がいないと判断し各操作ができない場合があります。
- ふたカバー、便座カバーが着座センサーにおおわれるようなゆるみやたわみ、カバーのサイズが合わないような状態での使用は避けてください。
人がいると判断し、着座しなくても洗浄スイッチがはたらく場合があります。



着座を検知しない場合は、次の表に従って点検してください。

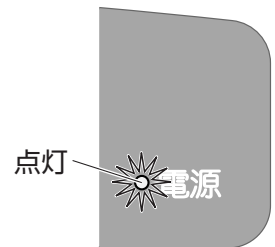
点検項目	処置
極端な前かがみや前寄りに座っていませんか。	背筋をのぼし便座の後ろ寄りに座ってください。
着座センサーの表面がゴミや水滴などで汚れていませんか。	汚れを取り除いてください。
赤外線を反射しにくい衣服（黒っぽい服など）を着用していたり、衣服が密着していませんか。	衣服を持ち上げ、肌を検知するようにしてください。

ご使用について おしり、ビデ洗浄



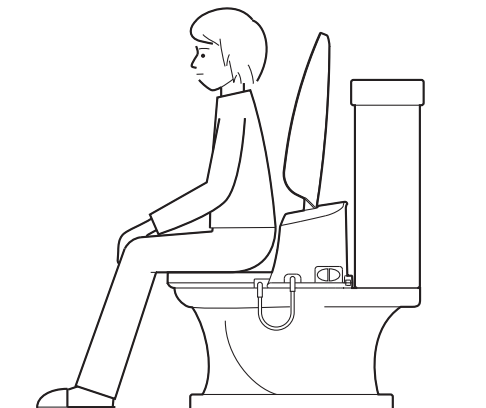
1 電源が入っていることを確認します。 (電源ランプ点灯)

- 電源ランプが消えているときは、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 電源を入れた直後は便座、温水が冷たい場合があります。
- 6時間切、9時間切ランプが点灯しているときは操作できませんのでご注意ください。
参照：P14



2 座ります。

- 着座センサーが検知するように正しく座ってください。
参照：P10




3 おしり洗浄スイッチまたはビデ洗浄スイッチを押します。

- おしり洗浄、ビデ洗浄は着座を検知しているときにしか作動しません。
- 洗浄は約2分間続けてお使いになると自動的に停止します。
- 長時間洗浄（約70秒以上、水勢「中」のとき）すると、お湯がぬるくなる場合があります。
このとき、お湯が設定温度に上がるまで5～10分かかります。
（停電復帰後も同様に約5～10分かかります。）



■ ウェーブ洗浄にするには

おしり洗浄中に  をもう一度押すと、ウェーブ洗浄（水勢の強弱を繰り返す機能）になります。

通常のおしり洗浄に戻すときは再度  を押します。


※ウェーブ洗浄は水勢の最高と最低を繰り返すため、水勢の変更はできません。

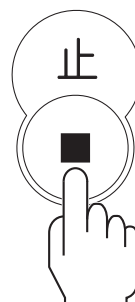
水勢調節スイッチについて

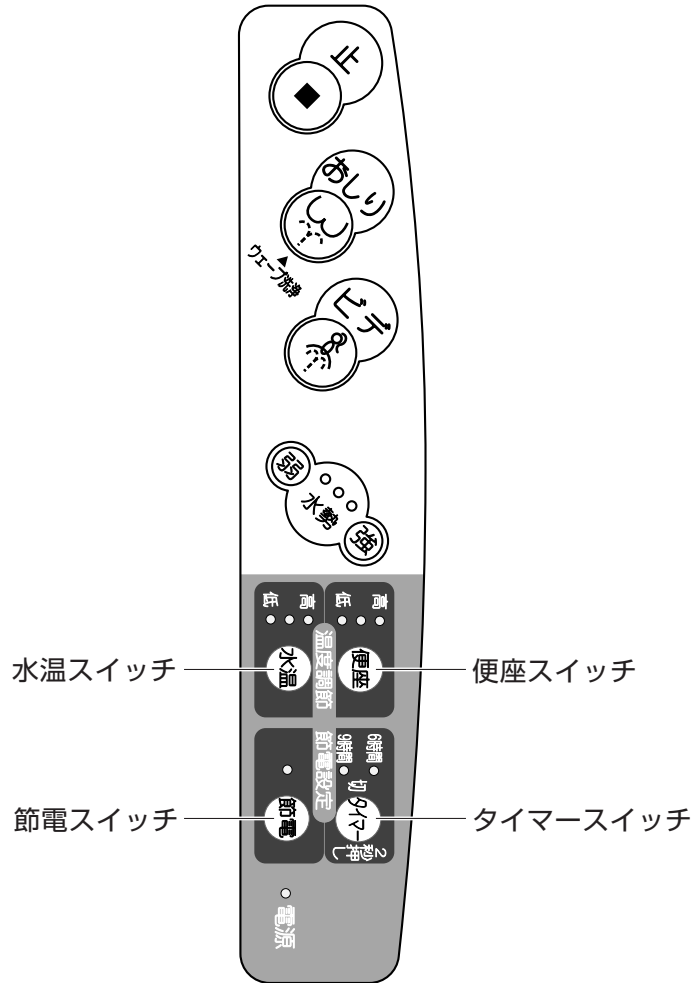
-  または  を押して水勢のレベルが調節できます。
使用直前の水勢レベルを記憶しています。

※水圧が低いと、弱い水勢が使えない場合があります。
その際は、水勢レベルを強くしてください。

4 止めます。

- おしり洗浄（ウェーブ洗浄）、ビデ洗浄を停止します。
本体操作部の  を押します。

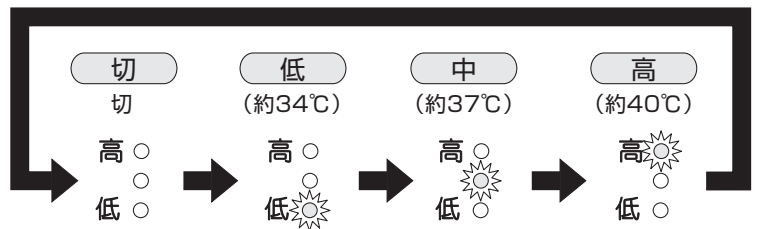




温水温度の設定（水温スイッチ）

水温 を押すたびにレベルに合わせて温水温度ランプが点灯します。

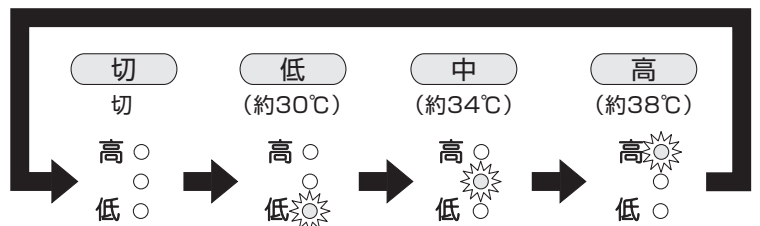
- 「切」 のとき温水になりません。
（温水温度ランプは消灯。）



便座温度の設定（便座スイッチ）

便座 を押すたびにレベルに合わせて便座温度ランプが点灯します。

- 「切」 のとき便座はあたたまりません。
（便座温度ランプは消灯。）



節電（節電スイッチ）

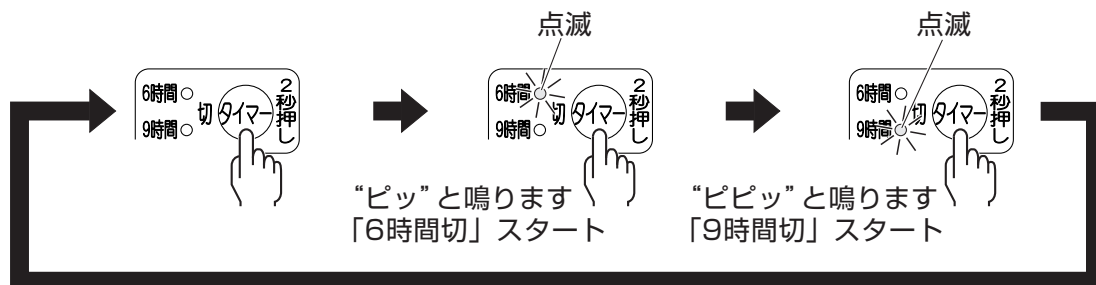
節電 を押すと、節電運転（便座と温水が低温で保温）され、節電ランプが点灯します。

- 節電ランプが点灯しているときは、便座に座らない間、便座温度、温水温度が「低め」のレベルになります。（便座、温水ランプが消灯。）
温度調節が「切」のときは、レベルは変更されません。
- 便座に座ると自動的に元の便座温度、温水温度レベルに戻ります。
※便座の温度上昇に約1～2分かかります。
便座から離れてから約1分後に節電運転に戻ります。
- 節電運転を解除するときは再度 **節電** を押します。（節電ランプが消灯。）

6・9時間切タイマー（タイマースイッチ）

タイマー を押すとタイマーがはたらきすべての動作を6時間または9時間止めます。
夜間や外出などで使用しないときにお使いください。

- **タイマー** を約2秒間押すと、選択状態になります。（本体操作部の「6時間切ランプ」が点滅。）
- 点滅中に **タイマー** を押すたびに、「6時間切（ランプ点滅）」→「9時間切（ランプ点滅）」→「タイマー解除」→（以降繰り返し）と切り替わります。



- 点滅したまま、約10秒そのままにすると、切タイマーが設定されます。（ランプが点灯。）
- 設定したときから6時間後または9時間後、自動的に通電を開始します。（切タイマー設定中は6時間切ランプまたは9時間切ランプ以外はすべて消灯。）

■ 設定解除するには

- 6時間切ランプまたは9時間切ランプが点灯中に、再度 **タイマー** を押すと切タイマーが解除されます。（ランプが消灯。）
※洗浄水の温度上昇に約5～10分かかります。
※切タイマー作動中は着座してもタイマーは解除されません。

ご使用について ご使用上の注意

着座センサーが検知するように正しく座ってください。
参照：P10

ふたカバーを使うと、ふた・便座が倒れてしまう場合があります。


破損の原因となるため、ふた・便座に無理な力を加えないでください。

おしり洗浄・ビデ洗浄は約2分以上連続使用すると、タイマーにより自動的に停止します。
続けて使用するときには再度スイッチを押してください。

洗浄後、ノズル付近より、しばらくの間水滴が落ちますが、異常ではありません。

以下の場合、洗浄中に洗浄水勢が弱くなる場合があります。

- ロータンクの水を流したとき。
- 洗浄中に近くの水栓を使用したとき。

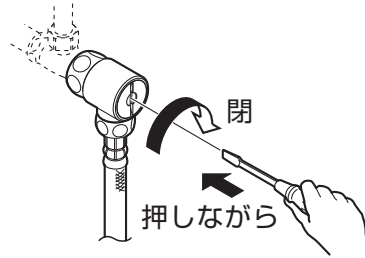
立ち上がる時は、必ず洗浄を止めてください。
洗浄中に立ち上がると、1～2秒洗浄水が出たままになります。
必ず  を押してから立ち上がってください。

動作不具合発生時には一度、電源プラグを抜き、再度差し込んでください。
リセット機能が働きます。

ご使用について 凍結予防

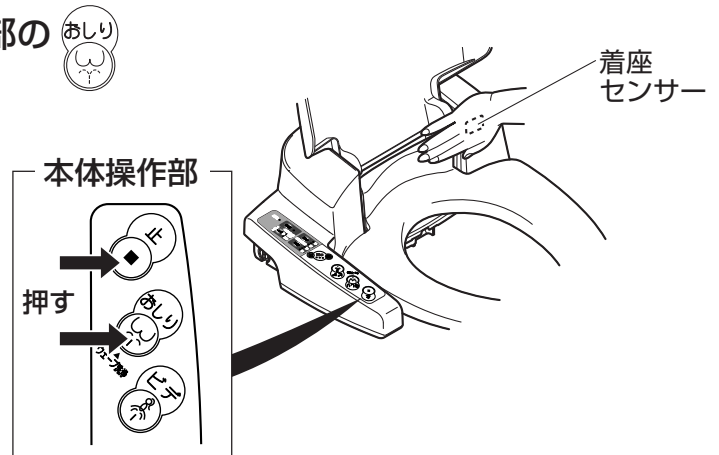
凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防してください。

1 止水栓を確実に閉めます。



2 着座センサーを手でおおい、本体操作部の押しボタンを押す、2~3秒後に「止」を押します。

※内部の水圧をさげるために必要です。



3 ストレーナを取りはずし、ストレーナ内部の水抜きします。

※コイン状のものでゆるめてください。
※本体内部にある逆止弁（黒い部分）に軽くふれてください。



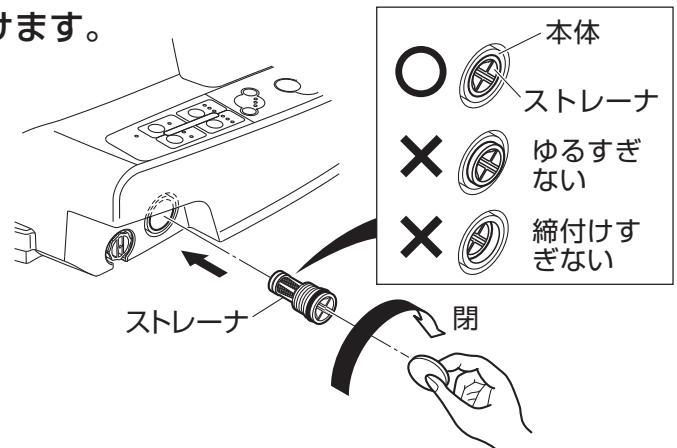
⚠ 注意

2L以上の容器で水を受けてください。
床を濡らすおそれがあります。

4 水抜き完了後、ストレーナを元通り取付けます。

⚠ 注意

- 黒いパッキンを傷つけたり、ゴミを挟まないようにしてください。
水もれの原因となります。
- ストレーナを締付けすぎないでください。
締付けすぎると、ストレーナが破損し、水もれのおそれがあります。

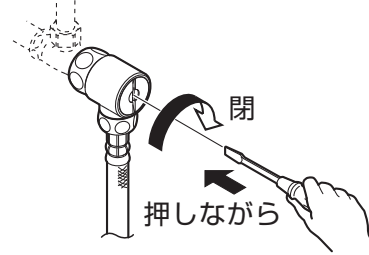


5 再使用の時は、止水栓を開きます。（止水栓を調節してください。参照：P8）

ご使用について 長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、次の処置によって本体の水を抜いてください。

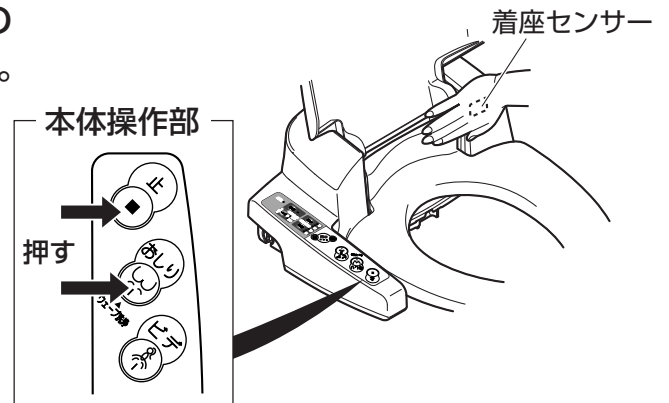
1 止水栓を確実に閉めます。



2 着座センサーを手でおおい、本体操作部の

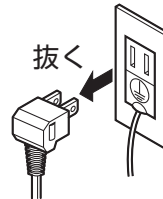
おしり^①を押し、2~3秒後に^②止を押します。

※内部の水圧をさげるために必要です。



3 電源プラグをコンセントから抜きます。

●再度使用するときは、P8~9を参照してください。

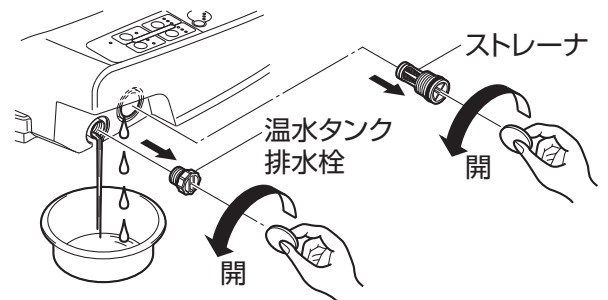


4 温水タンク排水栓、ストレーナをはずし水抜きします。

※コイン状のものでゆるめてください。

注意

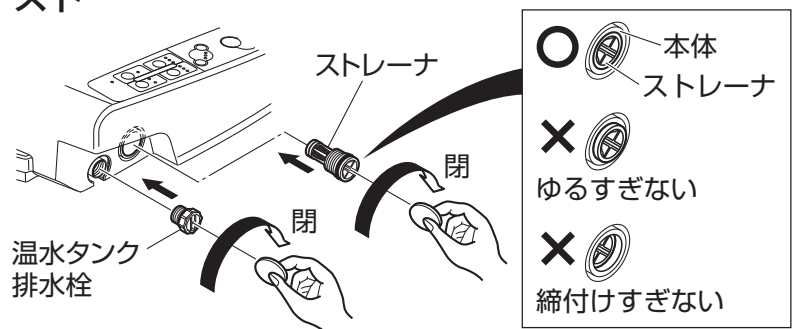
2L以上の容器で水を受けてください。
床を濡らすおそれがあります。



5 水抜き完了後、温水タンク排水栓、ストレーナを元通り取付けます。

注意

ストレーナを締付けすぎないでください。
締付けすぎると、ストレーナが破損し、水もれのおそれがあります。



6 再使用の時は、止水栓を開きます。（止水栓を調節してください。参照：P8）

お手入れ 日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意



次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど

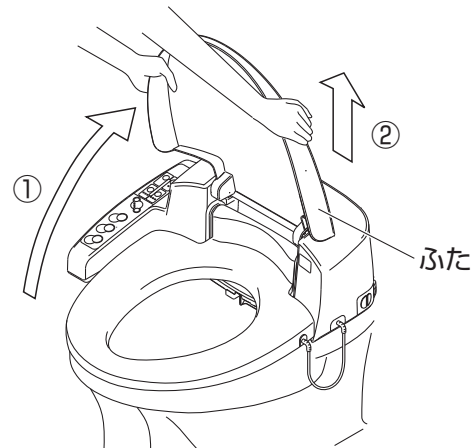


ふた・便座のお手入れ

1 ふたを取りはずします。

- ① ふたを垂直に上げる。
- ② 上へ引き抜く。

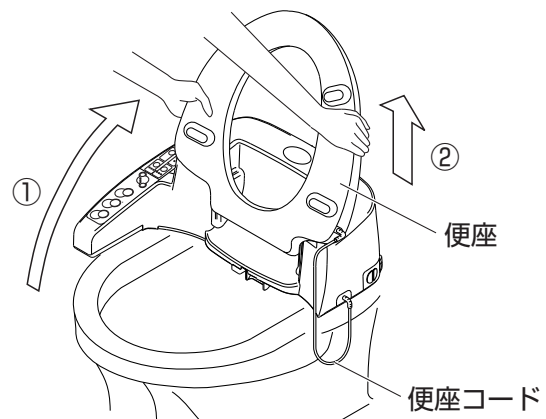
※垂直にしないで引き抜くとヒンジ軸が斜めになり、うまく取付けられない可能性があります。
(ヒンジ軸が斜めになった場合はP19を参照してください。)



2 便座を取りはずします。

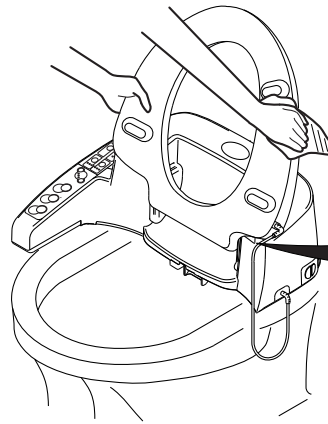
- ① 便座を垂直に上げる。
- ② 上へ引き抜く。

※便座コードははずれませんので無理に引っ張らないでください。
※垂直にしないで引き抜くとヒンジ軸が斜めになり、うまく取付けられない可能性があります。
(ヒンジ軸が斜めになった場合はP19を参照してください。)



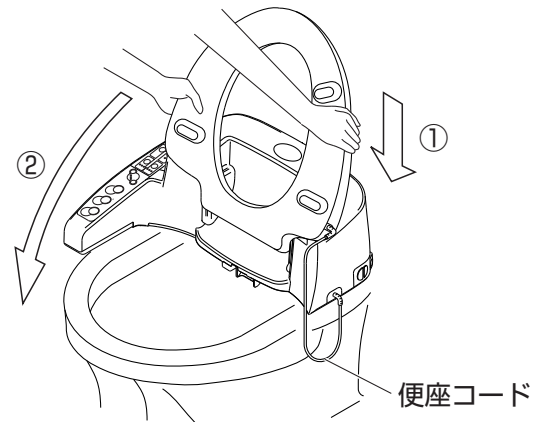
3 ふた・便器・本体の汚れを拭きます。

- ① 柔らかいスポンジに中性洗剤をふくませて洗う。
- ② 水拭きし、よくしぼった布で拭きとる。



4 便座を取付けます。

- ① 便座を上から、差し込む。
 - ② 便座をさげる。
- ※誤ってヒンジ軸が斜めになった場合は、便座を使ってヒンジ軸を回転させ、ヒンジ軸を垂直にしたあと、取付けてください。

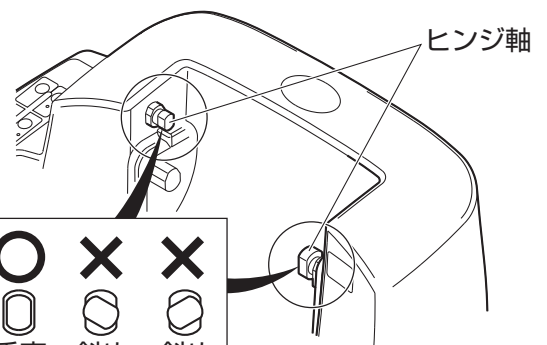
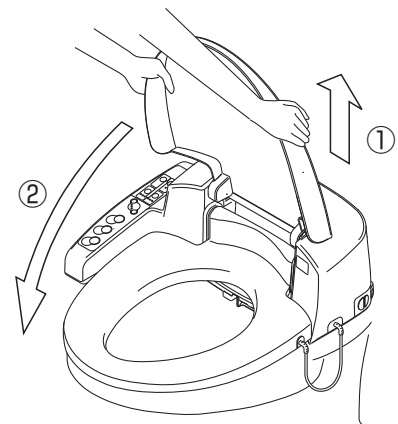


⚠ 注意

便座コードがねじれていないか確認してください。

5 ふたを取付けます。

- ① ふたを上から、差し込む。
 - ② ふたをさげる。
- ※誤ってヒンジ軸が斜めになった場合は、ふたを使ってヒンジ軸を回転させ、ヒンジ軸を垂直にしたあと、取付けてください。



⚠ 注意

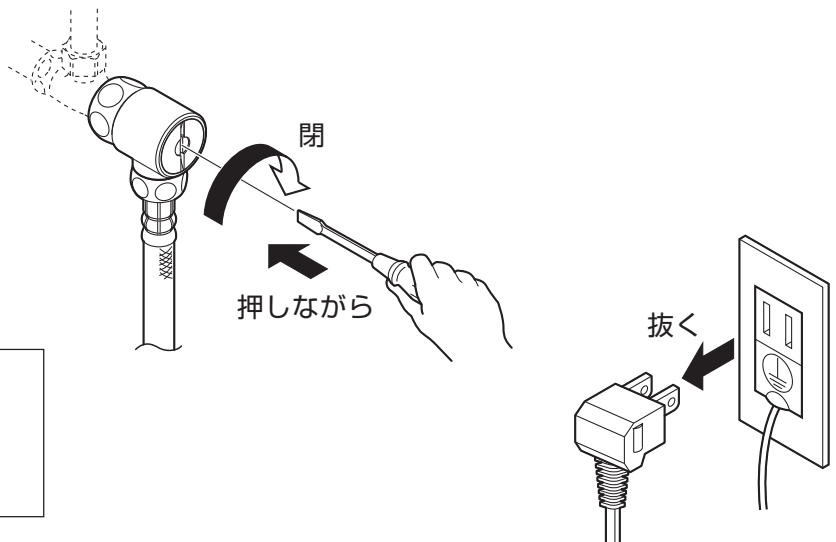
ヒンジ軸をペンチなどで無理に回転させないでください。開閉の動作不良の原因となります。

本体裏面・便器のお手入れ

- 1 安全のため止水栓を確実に閉め、電源プラグをコンセントから抜きます。
(温度調節や設定が変更される場合があります。)

警告

本体を着脱する前に、必ず電源プラグを抜いてください。
抜かないと、感電するおそれがあります。

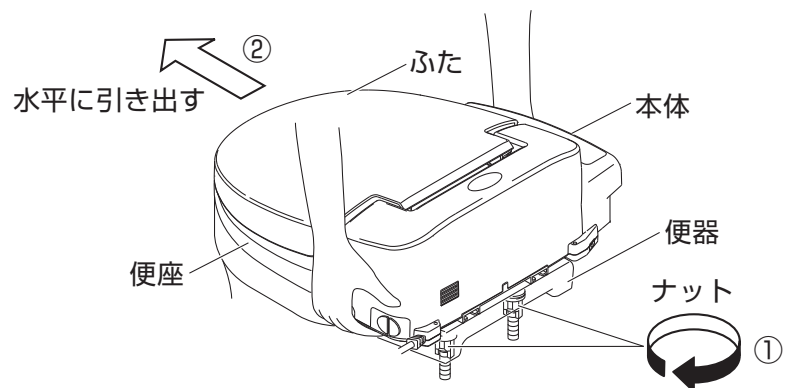


- 2 本体を取りはずします。

- ① 便器裏側の本体固定部ナットをゆるめる。
- ② 本体側面を両手で持ち、少し上に持ち上げながら本体を手前（水平）にずらす。

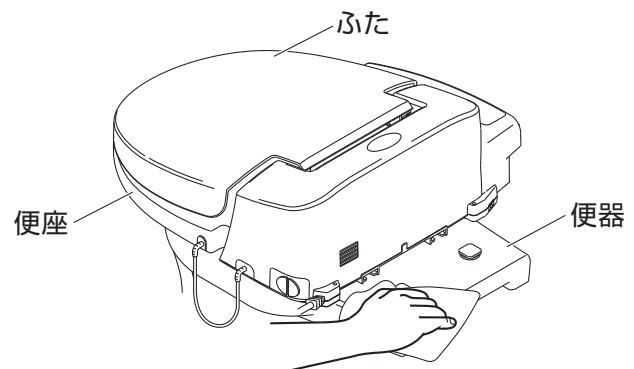
注意

- 持ち運ぶときや、本体着脱時は、必ず本体を持って行ってください。
ふた、便座を持つと本体からはずれ、けがをするおそれがあります。
- 本体着脱時は、無理に力をかけないでください。
けがをしたり、便器の配水管の水もれの原因になります。
※ 本体着脱がかたい場合は、無理に取りはずさず、便器裏側の本体固定部ナットをはずしてください。



- 3 本体を便器の上に置き、本体裏面・便器の汚れを拭きます。

- ① 柔らかいスポンジに中性洗剤をふくませて洗う。
- ② 水ふきし、よくしぼった布で拭きとる。

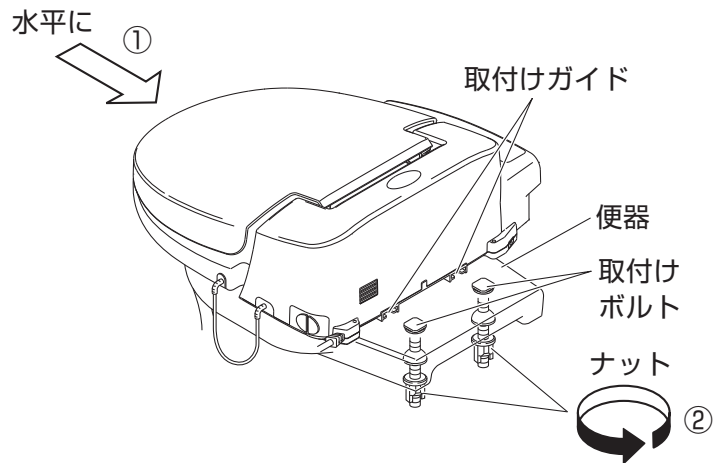


4 本体を取付けます。

- ① 本体を水平にスライドさせ本体の取付けガイドを取付けボルトと便器の間に挿入する。
- ② 便器裏側の本体固定部ナットを手で締付ける。

⚠ 注意

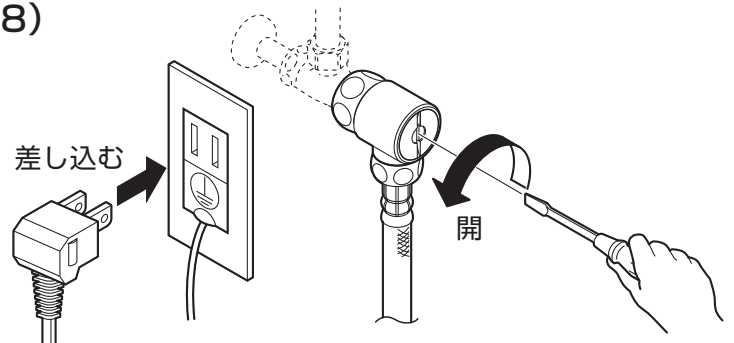
- 持ち運ぶときや、本体着脱時は、必ず本体を持って行ってください。
ふた、便座を持つと本体からはずれ、けがをすることがあります。
- 本体着脱時は、無理に力をかけないでください。
けがをしたり、便器の配水管の水もれの原因になります。
- ナットは手で締付けてください。
工具を用いて強く締付けると割れるおそれがあります。



5 電源プラグをコンセントに差し込み止水栓を開きます。 (止水栓を調節してください。参照：P8)

⚠ 警告

電源プラグは濡れた手で差し込まないでください。
感電の原因になります。



洗浄ノズルのお手入れ

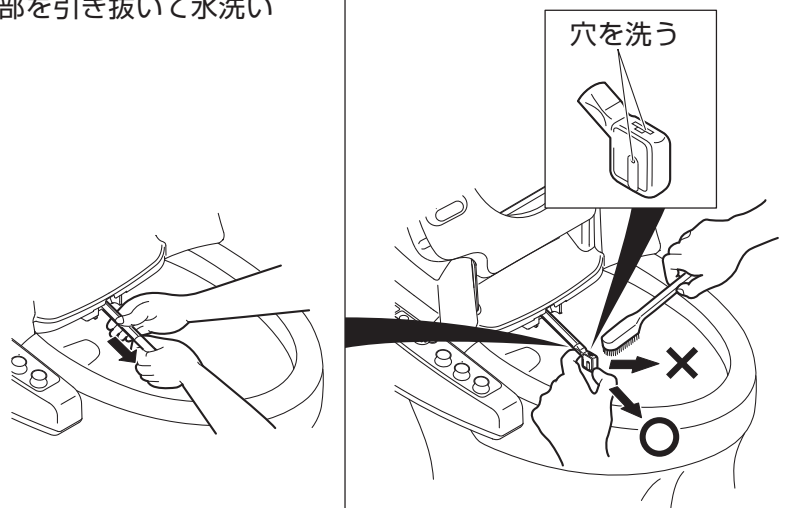
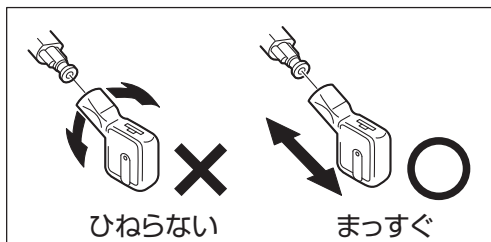
1 ノズルを先端部が見える程度に手で軽く引き出し、 歯ブラシなどで汚れを取り除きます。

- ノズルを差し込むとき、水が出る場合がありますので、ご注意ください。

- ノズルが目づまりしたときは、ノズル先端部を引き抜いて水洗いしてください。

⚠ 注意

ノズルの引き出し、またはノズル先端部を引き抜くときはまっすぐに行ってください。
上に持ち上げたり、左右にひねったりすると破損の原因になります。



給水ホースや金具のお手入れ

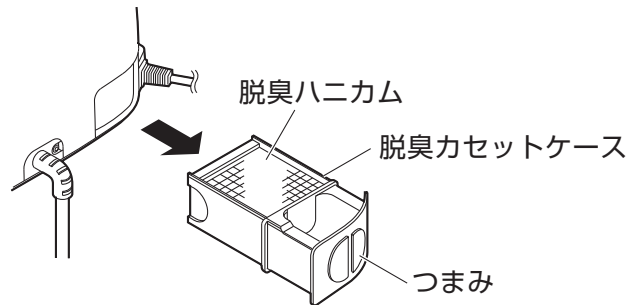
⚠ 注意

給水ホースに力を加えたり、折れ曲げたり、とがったもので傷をつけないでください。
水もれの原因になります。

給水ホースやナットに中性洗剤以外の洗剤・薬品・芳香剤などをかけないでください。
劣化による水もれの原因になります。

脱臭カセットのお手入れ (EW9001のみ)

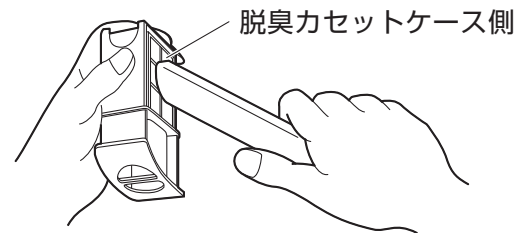
1 つまみを持って引き出します。



2 掃除機で脱臭カセットケース側のほこりを取り除きます。

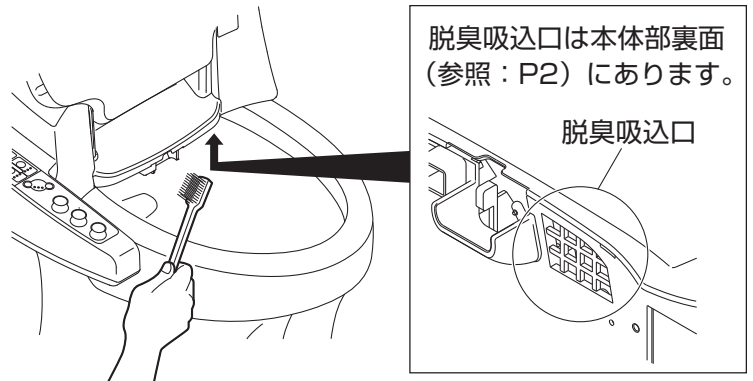
⚠ 注意

- 脱臭ハニカムを掃除機の先でこすりつけしないでください。
脱臭ハニカムが割れることがあります。
- 脱臭ハニカムの水洗いはしないでください。
脱臭効果がなくなります。
- 脱臭カセットケースが確実にハマっているか確認してください。
ハマっていないと脱臭機能が正しく作動しません。



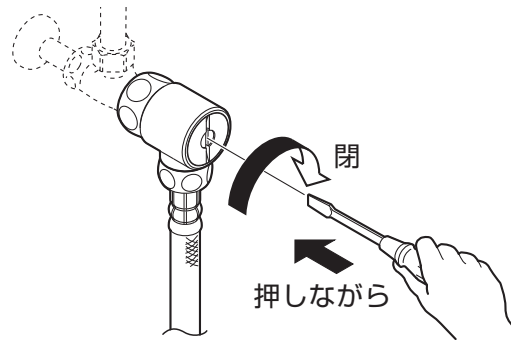
脱臭吸込口のお手入れ (EW9001のみ)

- 脱臭吸込口が詰まると効果的な脱臭性能が得られなくなります。
脱臭効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは脱臭吸込口のお手入れをしてください。
- 乾いた歯ブラシなどで綿ぼこりやペーパーくずなどを取り除いてください。



ストレーナのお手入れ

1 止水栓を確実に閉めます。



2 着座センサーを手でおおい、本体操作部の

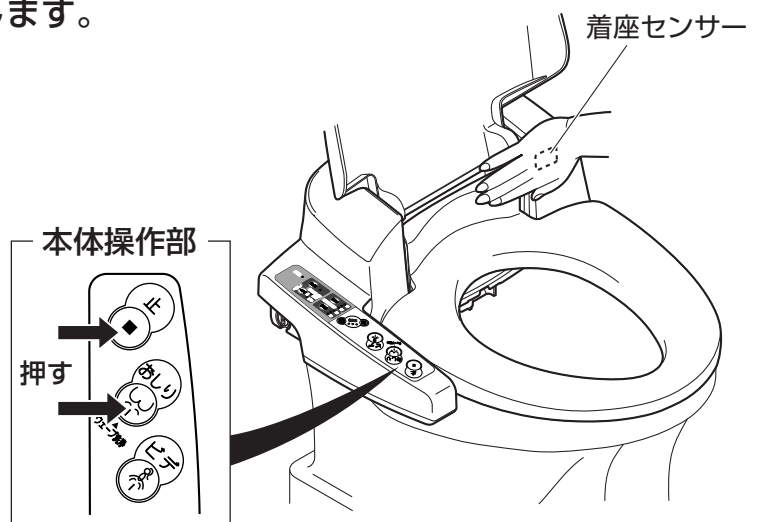


を押し、2～3秒後に



を押します。

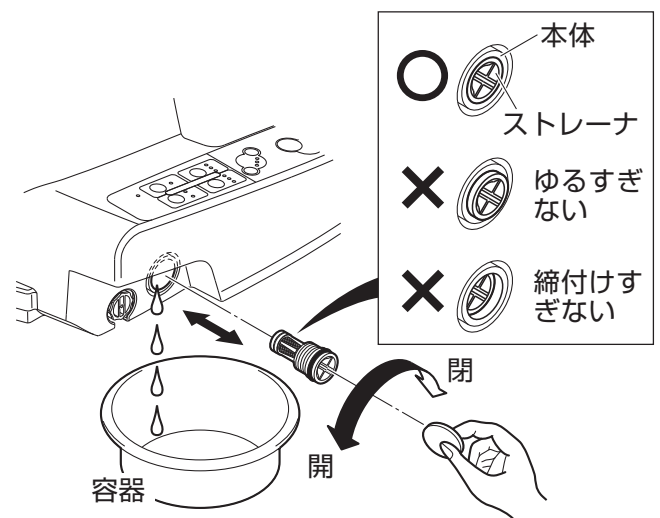
※内部の水圧をさげるために必要です。



3 ストレーナを取りはずし、ブラシなどで汚れを取り除いた後、ストレーナを元通り取付けます。

⚠ 注意

- 2L以上の容器で水を受けてください。床を濡らすおそれがあります。
- 黒いパッキンを傷つけたり、ゴミを挟まないようにしてください。水もれの原因となります。
- ストレーナを締付けすぎないでください。締付けすぎると、ストレーナが破損し、水もれのおそれがあります。



4 止水栓を開きます。
(止水栓を調節してください。参照：P8)

こんなときは 故障？ その前に

動作不具合発生時には一度、電源プラグを抜き、再度差し込んでください。リセット機能が働きます。

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

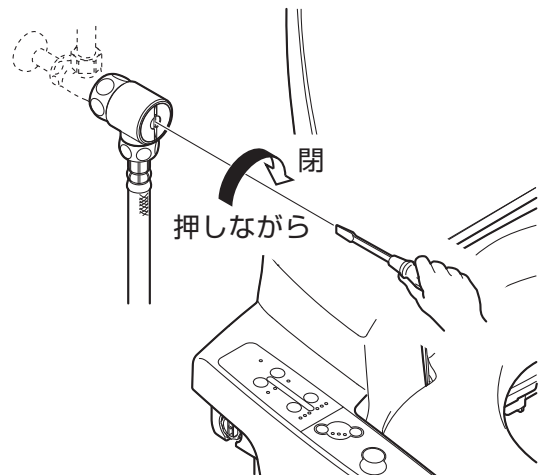
現象	点検項目	処置
洗浄ノズルが出ない	止水栓を閉じていませんか。	止水栓を開ける。 参照：P8
洗浄水が出ない	給水ホースが折れていませんか。	給水ホースの折れ曲がりをなおす。
洗浄水勢が弱い	電源ランプが消えていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込む。 参照：P9
洗浄水の出が悪くなった	タンクに水が入っていますか。	着座センサーを手でおおい(ぬい)を押す。 (初期給水をする)  参照：P9
	ストレーナにゴミがつかっていませんか。	ストレーナを掃除する。 参照：P23
洗浄ノズルが途中で止まる	ノズルが目づまりしていませんか。	ノズルを掃除する。 参照：P21
	6時間切ランプまたは9時間切ランプが点灯していませんか。	 を押し、切タイマーを解除する。 (切タイマー作動中は着座しても解除されません。) 参照：P14
	着座センサーに衣服が密着していませんか。	衣服を持ち上げ肌を検知するようにする。 参照：P10
	赤外線を反射しにくい衣服を着ていませんか。	
	水がつかない(ぬい)	長時間洗浄(約70秒以上)をしていませんか。
2人以上連続で使用していませんか。		
温水温度設定が「切」または「低」になっていませんか。		温度を調節する。 (季節によっては「低」でも冷たく感じる場合があります。) 参照：P13
節電中ランプが点灯していませんか。		 を切る。(節電中は温水が「低」になっています。) 参照：P14
6時間切タイマーまたは9時間切タイマーを解除した後すぐに使用していませんか。		約5~10分待つ。 参照：P14
ノズル付近から水がもれている	ノズル内部の排水によるもので故障ではありません。	_____
便座がつかない(ぬい)	便座温度設定が「切」または「低」になっていませんか。	温度を調節する。 (季節によっては「低」でも冷たく感じる場合があります。) 参照：P13
	節電中ランプが点灯していませんか。	 を切る。(節電中は温水が「低」になっています。) 参照：P14
	6時間切ランプまたは9時間切ランプが点灯していませんか。	 を押し、切タイマーを解除する。 (切タイマー作動中は着座しても解除されません。) 参照：P14
便座が倒れる	便座コードがねじれていませんか。	便座をはずし、コードのねじれをなくす。 参照：P19
	便座カバーは合っていますか。	サイズが合わないカバーの使用は避けてください。 参照：P15
ふたが倒れる	ふたがロータンクに当たっていませんか。	ナット、半球パッキンをはずし本体の位置を調節し、本体をしっかり固定する。
	ふたカバーは合っていますか。	サイズが合わないカバーの使用は避けてください。 参照：P15
脱臭が作動しないEW9001のみ	着座センサーがゴミや水滴などにより汚れていませんか。	着座センサーを掃除する。 参照：P19
	脱臭設定を解除していませんか。	電源プラグをいったん抜いて入れ直す。 参照：P10
脱臭が止まらないEW9001のみ	ふたカバー・便座カバーが、着座センサーをおおっていませんか。	サイズが合わないカバーの使用は避けてください。 参照：P10
	着座センサーがゴミや水滴などにより汚れていませんか。	着座センサーを掃除する。 参照：P19
においが取れなくなったEW9001のみ	脱臭カセット、脱臭吸込口にほこりがついていませんか。	脱臭カセット・脱臭吸込口のお手入れをする。 参照：P22
	脱臭カセットを長期間使用していませんか。(約7年間)	脱臭カセットを交換する。 参照：P7・26
ふた・便座がうまく取付かない	ヒンジ軸が斜めになっていませんか。	ヒンジ軸を垂直に戻してから取付ける。 参照：P19

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

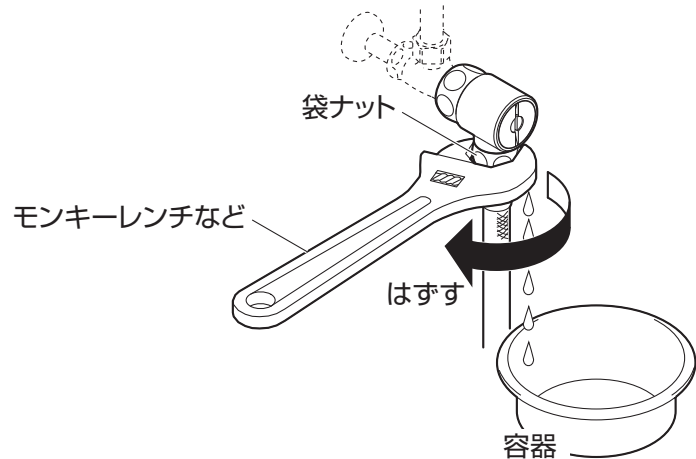
こんなときは 破損、水もれのとき

●万が一の破損、水もれのときは、以下の処置を行い、その後、修理を依頼してください。

1 止水栓を確実に閉めます。



2 給水ホースの袋ナットをモンキーレンチなどでまわしてはずします。



⚠ 注意

2L以上の容器で水を受けてください。
床を濡らすおそれがあります。

3 修理後、止水栓を開けます。 (止水栓を調節してください。参照：P8)

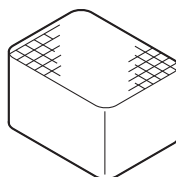
⚠ 注意

お手入れのあとや、ホースに力を加えた時などは接続部のゆるみがないか確認してください。

こんなときは オプション品について

●消耗品

- 取替用脱臭ハニカム
EW9001-7 (EW9001用)
交換の目安は約7年です。



使用開始日		
年	月	日

仕様

品番	EW9001 (脱臭機能付) EW9011 (脱臭機能なし)		
電源・最大消費電力	AC100V 50/60Hz 330W		
待機時消費電力	約1.9W (制御回路分)		
電源コード長さ	約1.0m		
洗浄装置	温水タンク	貯湯式 約1.2L	
	温水温度	4段階調節 切・低・中・高 (水温～約40℃)	
	吐出量	おしり	3段階調節 (約0.5～1.0L/分)
		ビデ	3段階調節 (約0.5～1.0L/分)
	シャワ方式	おしり	水圧伸縮式 泡付き水流
		ビデ	水圧伸縮式 10穴ソフトシャワー
温水ヒーター	250W		
保護装置	サーモスイッチ、温度ヒューズ		

節電モード	節電スイッチ タイマースイッチ	
脱臭装置 (EW9001のみ)	脱臭剤	W触媒脱臭ハニカム (約7年間)
	脱臭風量	約0.1m ³ /分
暖房便座	表面温度	4段階調節 切・低・中・高 (室温～約38℃)
	便座ヒーター	57W
	保護装置	温度ヒューズ
開閉機構	ソフト閉止	
保護装置	漏電検知遮断回路内蔵、着座センサー	
使用水道圧範囲	0.07～0.75MPa	
本体寸法	高さ19.3cm×幅48cm×奥行き52.7cm	
質量	4.7kg (EW9001)	
	4.6kg (EW9011)	

※使用水道圧範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。

※使用水道圧範囲が0.1MPa以下では洗浄水量が少なくなります。

※防湿仕様ではありません。ユニットバスなどでは使用しないでください。

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。
お買上げ（据付け引渡し）年月日、販売店（工事店）名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの）の供給期間は製造中止後7年です。

〔修理の依頼について〕

- 修理依頼先：お求めの販売店（工事店）又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ（据付け引渡し）年月日
 - 故障内容、異常の状況（水漏れ箇所の説明など）
 - 訪問希望日
- 当社の修理料金は「技術料」＋「部品代」＋「出張料」で構成されています。
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理に使用した部品代。
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品の交換〕

- 止水部やパッキンが劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。
- 逆止弁は5年毎の点検をおすすめします。

〔補修用性能部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お近くのDIY・ホームセンター、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。
ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

SAN-EI

株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
TEL (06)6972-5921 FAX (06)6974-7001

東京支店 …… ☎ (03)3683-7471
名古屋支店 …… ☎ (052)800-8688
大阪支店 …… ☎ (06)6972-6981
札幌営業所 …… ☎ (011)782-5353
盛岡営業所 …… ☎ (019)605-7301
仙台営業所 …… ☎ (022)258-6251
新潟営業所 …… ☎ (025)281-1291
さいたま営業所 …… ☎ (048)625-4741
横浜営業所 …… ☎ (045)929-0331

金沢営業所 …… ☎ (076)268-7751
京都営業所 …… ☎ (075)605-5761
神戸営業所 …… ☎ (078)843-9231
広島営業所 …… ☎ (082)922-3631
四国営業所 …… ☎ (089)982-5071
福岡営業所 …… ☎ (092)674-1230
熊本営業所 …… ☎ (096)385-7161
沖縄営業所 …… ☎ (098)869-0890

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>